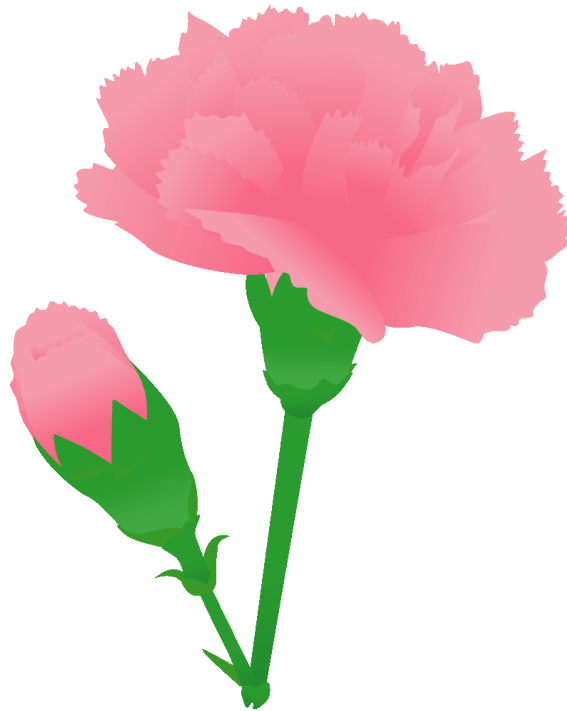


令和2年度 第2回
第18採択地区教科用図書採択協議会
議事録



日 時 令和2年8月5日（水）午前 9時30分から

場 所 深谷市立教育研究所 3階 大会議室

令和2年度第2回第18採択地区教科用図書採択地区協議会議事録

【日時】令和2年8月5日（水）

【場所】深谷市教育研究所 大会議室

【出席者】委員 小柳光春、轟和男、吉井恵美子、鶴養美季、清水幸三郎、吉田明美

事務局 関根正雄、下条徹、田中義人、雨宮大地、飯塚健太、荻野貴弘、小林亘、山下雅之、栗田賢、浦部誠、森田欣也、栗原秀人、笛場敦司、大竹真人、野邊桂介、内田徳和

1 開会の言葉

2 会長あいさつ

議長	それでは、これから協議会を始めます。事務局から本日の会議の進め方について、説明させていただきますので確認をお願いいたします。
事務局	協議会の進め方について説明いたします。目録の順番に従い、国語から、各教科の調査員長に調査研究の内容を報告していただきます。その後、質疑応答を行います。各教科の報告は15分、質疑協議は5分、合計20分で行います。社会については、地図を含み40分程度とします。選定は、2つから3つの教科の協議終了ごとに投票で行います。なお、要項では、本協議会は公開となっておりますが、傍聴に際しましては、録音、撮影等は御遠慮ください。また、要望書が届いておりますが、要望書の内容につきましては、先日、委員の皆様にお配りした通りとなっております。以上で説明を終わります。
議長	御質問、御意見はありますか。 それでは、各教科書の協議に入ります。進行に御協力お願いします。 なお、投票により選定を行いますが、その際、お配りのメモ用紙をご活用ください。国語科の調査員長にお声がけください。
議長	御多用の中での調査ありがとうございました。では、報告してください。
調査員長	これから国語科の調査結果を報告いたします。よろしく願いいたします。 国語科は、「東京書籍」「三省堂」「教育出版」「光村図書」の四つの発行者の教科書があります。それぞれの教科書について報告する前に、4者の教科書に共通して言えることを報告いたします。まず、どの指導事項に係るどんな力をつけるのかを、学習者である生徒に意識させ、「学び方」を学ばせることと、「主体的・対話的で深い学び」をさせることを、強く意識した内容となっております。また、ユニバーサルデザイン、特別支援教育への配慮、造本上の工夫等、細かな点に配慮した教科書となりました。それでは、各発行者の教科書について、「国語科調査資料」にお示しした内容から、特徴的な部分を説明いたします。なお、説明する順序は、「発行者番号」順といたします。また、具体的な部分をお示しする際に教科書を使用したいと思しますので、各発行者の1年生の教科書をお手元にご用意ください。よろしく願いいたします。 ○はじめに「東京書籍」です。大きな特徴は「言葉の力」が身に付く仕組みです。教科書の29ページをご覧ください。ここでは、詩の学習を終えた後に、「描写や表現方法」に関するつまずきを漫画で表し、生徒が主体的に課題を捉えられるようにしています。242ページをご覧ください。漫画で気づいた課題を、基礎編「学びを支える言葉の力」で解決し、描写の方法や表現技法の使い方を学習できるようになっています。さらに、学習したことが次の学習につながり、生活に広げられるような言語活動例が示されています。

30ページにお戻りください。学習内容を詩歌創作ですぐに活用することができるように仕組みられています。実際に学習内容を実践することで「言葉の力」が身に付くような流れができています。

○次に、「三省堂」です。確かな言葉の力を主体的に学ばせ身に付けさせようとする意図がよくわかる教科書で、特に「読むこと」の学習においてそのことが顕著です。教科書2ページからの目次をご覧ください。「読むこと」の教材の横に「読み方を学ぼう」が①から⑧まで示されています。これらは、文章を正確に深く読むための方略・コツになります。裏表紙の内側をご覧ください。この教科書では、中学校の3年間で22の具体的な読む方略を、教材文に合わせて学ばせていくようになっています。特に各学年最初の説明文教材に、このことがよく表れています。40ページをお開きください。読み方①「説明文の基本構造」を学ぶために、折込形式の見開きで、プレ教材「ペンギンの防寒着」の全文が、一目でとらえられるように配置されています。注目すべき言葉や文章の構成がわかりやすく示され、説明文の基本構造をとらえることで、的確に内容を把握する「読み方」を理解することができます。この「読み方」を意識して活用しながら、44ページから始まる「クジラの飲み水」を読めるように教材が配列されています。50ページをご覧ください。学習の手引きとなる「学びの道しるべ」では、「目標の確認」からプレ教材で確認した「読み方」を踏まえた「見通し」、読みを深めるための「思考の方法」、そして「学びの振り返り」という明確な学習過程によって、主体的・対話的で深い学びを実現できるように工夫しています。

○続いて、「教育出版」です。2ページの目次をご覧ください。単元ごとに「表現・対話・思想」など学びを進める7つのキーワードを設定し、テーマをもって多領域の教材・言語活動に触れられるようにしています。この教科書の大きな特徴は、生徒が国語の「学び方」を主体的に習得し活用でき、学習の有用感を得られるように、コラム「学びナビ」を教材文や学習活動の前に位置づけ、その教材で「学ぶ内容」や「学び方」を先に具体的に示していることです。32ページをお開きください。これは、「文章の構成を捉える」学習の前に設けられた「学びナビ」です。下段の「こう読み深めよう」で示された具体的な読み方を活用して読むことで、見通しをもって学習を進められます。40ページをご覧ください。教材文の後に設けられた学習の手引き「みちしるべ」です。「学びナビ」にあった『ここが大事』とつながった課題を示すことで、学習者が自らの考えを形成し、深化、拡充させられるようになっています。次に76ページをお開きください。各学年にSDGsを扱った教材が新設され、現代の多様な課題、正解のない問いと向き合い、対話を通して最適解を導く学習に、継続して取り組めるようになっています。最後に186ページをお開きください。「学びのチャレンジ」という問題形式の教材が新設されました。全国学力・学習状況調査やPISA調査などを踏まえ、多様なテキストを読み解き表現する力を高められるようになっています。

○最後に「光村図書」です。教材や言語活動を通して学ぶことや学んだことを見開き2ページで分かりやすく示し、他の場面でも活用させながら習熟させていくことに力を入れている教科書です。6ページをご覧ください。評価の観点及び領域で教材がまとめられ、各教材で何に重点を置いて学ぶのか、見通しをもって学習を進められるようにしています。見開きになっている9・10ページをお開きください。場面や目的に応じた考え方や思考ツールが示されていて、いつでもここに戻れば思考の手がかりが得られます。34ページをお開きください。「書くこと」の教材ですが、最初に「目標」が示され、続いて「集める・整理する」「組み立てる」「表現する」「振り返る」という学習過程が明示されます。この教材では黄色く塗られた「集める・整理する」を重点に学習することを示しています。見開きで学習過程全体が見えることで、生徒は見通しをもち自己調整しながら主体的に学習を進めやすくなっています。50ページをお開きください。こちらの見開きは「読むこと」の学習を進める手引きのページです。上

段には、まず「学習活動」と「目標」を示し、続いて学習過程が明示されています。この教材では、黄色で塗られた「捉える」を重点に学習することが分かります。下段には、「学習の窓」で、汎用的な読みのポイントを図解とともに示しています。インデックスで、この学年では「読むこと」に係るどんな力をどこで学ぶのかを一覧できるようになっています。最後に136ページをお開きください。学習指導要領で新設された「情報の扱い方」についての教材「思考のレッスン」「情報整理のレッスン」が、見開き2ページでコンパクトにまとめられています。例示や図解で分かりやすく解説するとともに、思考を誘う話形や文型を提示し、生徒が活用できるように工夫しています。また、論理的に正しいか確認する視点と学んだことを確認する問題もあり、しっかりと振り返ることができます。

以上、4つの発行者の教科書につきまして、説明いたしました。これで、国語科の調査研究報告を終わりにいたします。ありがとうございました。

議長

ありがとうございました。事務局より補足等ありますか。

事務局

深谷市、寄居町の中学校13校において、第18採択地区の子供たちにとってふさわしい教科用図書について、学校での調査研究の結果をあげていただきました。回答は複数回答でも可としたものです。従って回答数は13以上になっております。学校調査結果について、目録順に読み上げます。東京書籍1票、三省堂3票、教育出版13票、光村図書13票、以上でございます。

議長

委員のみなさん、ただいまの調査員長による説明・報告に対して、質問はありますか。

〈 Q & A 〉

委員

第18採択地区内の子供たちにとって、よりふさわしいと思われる発行者を2者あげるとするならば、どの発行者でしょう。

調査員長

国語科の調査員で教科書の調査研究を行う中で、この地域の生徒たちにとって、よりふさわしいと思われる発行者は、教科書そのもので考えると、発行者番号順でいうと「三省堂」と「光村図書」と考えました。しかし、生徒の立場から考えると、現在使用している教科書であり、小学校でも採択されている「教育出版」も外せないと考え、あえて3者挙げます。

まず「三省堂」です。今回どの教科書も「学び方」を学ぶというスタンスをとっていますが、最もその姿勢が強いのが三省堂です。

「読み方を学ぼう」では、汎用性のある「22の読み方(技・コツ)」を3年間で習得し、「思考の方法」では、情報の整理の仕方を身に付けます。「学びの道しるべ」では、そうした学習のポイントを明確な学習過程に位置づけ、見通しと振り返りにより、主体的に「学び方」を活用しながら習得できる教科書になっています。2年生の古文『平家物語』では、身近な地域出身の熊谷直実が登場する「敦盛の最期」が掲載されています。次に「光村図書」です。今回の教科書の中で最も情報が整理され、見やすく活用しやすいレイアウト・構成になっています。特に、教材文の後ろに配置される手引きである「学習」、文章における情報の扱い方に係る解説である「情報整理のレッスン」「思考のレッスン」は、ほとんどが見開き2ページに見やすく理解しやすくまとめられています。

「学習」のページの上段は、領域ごとに統一された学習過程が明示され、それぞれの教材でどの学習過程に重点が置かれているのかを、黄色く塗って焦点化しています。「学習」の下段には、汎用的な学習のポイントを図解とともに示す「学習の窓」があります。

「情報整理のレッスン」「思考のレッスン」「学習の窓」は巻末にも一覧としてまとめられており、生徒が主体的に学ぶ際のサポートとなります。

最後に「教育出版」です。「国語科は何を勉強する教科なのか?」「どう勉強すればよ

いのか？」という生徒の疑問への答えとなるかもしれない「学びナビ」が大きな特徴です。これまでのように教材文や言語活動にふれる中で気づかせる学習ではなく、「学び方」を先に示し学習させた上で、その学び方を活用して教材文や言語活動に取り組みます。そうすることで、国語科の学習の有用感を体感させ、主体的な学び手を育てることができると考えます。

また、全国学力・学習状況調査やPISA調査、高校入試などを踏まえ、これからの社会で求められる思考力や読解力を育成する問題形式の教材「学びのチャレンジ」が新設されました。2年生の古文『平家物語』では、身近な地域出身の熊谷直実が登場する「敦盛の最期」が掲載されています。「教育出版」は、現在使用している教科書であり、昨年小学校で採択され本年度から使用されています。生徒の立場からすると、これまで使ってきた教科書との違いは他者の教科書より小さく、小学校からの一貫性もあり、学びやすいと思われます。

また教員の立場からすると、継続して採用されている教材が少なくないため、これまで積み重ねてきた教材研究を踏まえ、その上に教材研究を積み重ねていくことで、より深い教材研究となり、充実した授業につながると考えます。

以上のことから、「三省堂」「光村図書」と「教育出版」の3者をあげさせていただきました。

議長 それでは、これまでを踏まえて協議に入ります。御意見等お願いします。

委員 調査員長さんの説明や学校票を加味すると、強いて挙げるとするならば教育出版が挙げられるのかと話をうかがい思いました。小学校からの引き続きの関連とか、学び方を学ぶことがこれから大事になってくるとすると、先生方にとっても子供たちにとっても、今まで使っていたもので研究を深めて子供の学力につなげていくことが大事だと感じました。

委員 学校教育法の学力の三要素の3番目、主体的に学びに向かう態度の育成が、新学習指導要領でも強調されています。学び方を学ぶという主体的な学びを目指すという点で、委員長がおっしゃっていた通りだと感じます。

議長 ほかに質問はございますか。

委員 子供たちが主体的に学習していくには、学び方を活用することが大切だと思います。そのような観点から考えていくのはどうでしょうか。

議長 ありがとうございます。ここで、協議を打ち切ります。調査員長は退室してください。委員の皆様は、メモ用紙にご記入ください。

議長 それでは、次に、書写の報告をお願いします。

柴崎教頭

議長 御多用の中での調査ありがとうございました。では、報告してください。

調査員長 書写の調査結果を報告いたします。よろしくお願いたします。
まず、東京書籍、三省堂、教育出版、光村図書の4者すべてについて、報告いたします。

○東京書籍 各教材に「目標」を設定し、「見つけよう」「確かめよう」等5つの流れの中で、生徒が主体的に学習できるようになっています。また、「書写のかぎ」が学習事項ごとに設けられており、基礎的、基本的な知識や技能について明確に示し、

習得が図れるようになっていきます。さらに、様々な角度から文字に関する題材が、活用単元の「生活に広げよう」や「文字のいずみ」によって提示されています。

○三省堂「書き方を学ぼう」により、点画の組み立て、外形、文字の大きさ、配列が矢印やイラストにより、視覚的にわかりやすくなっています。また、「書いて身につけよう」のページでは、字句の書き直しなどができ、学習事項を振り返ることができます。単元の構成に着目すると、「目標を確かめよう」から「自分の言葉でまとめよう」まで7つの段階に設定されており、見通しをもって学習を進められるようになっています。

○教育出版 毛筆の基本的な筆使いが、「考えよう」の中で、2色の濃淡をつけた字で示され、穂先の動きがわかりやすくなっています。基本単元は見開き2ページとなっており、見やすく使いやすく構成されています。「学習を生かして書く」というページによって、学習した字だけでなく、学習内容を他の字へ応用できるよう工夫されています。また、「学校生活に生かして書く」の単元で、習得した知識や技能を他の学習で活用する内容が設定されています。

○光村図書 「学習の窓」で、学習のポイントをわかりやすくし、身に付ける力を意識できるようにしています。また、「考えよう」「確かめよう」「生かそう」の各段階により、学習の見通しをもち、学習課題について考えてから毛筆や硬筆で書いて日常に生かす学習へと主体的に取り組むように工夫されています。さらに硬筆練習帳である「書写ブック」によって、毛筆教材文字と同じ学習要素をもつ硬筆課題を設定し、練習できるようにしています。

○東京書籍をご覧ください。【知識及び技能が習得されるようにするための工夫】として、P. 36の「書写のかぎ」で基礎的・基本的な知識及び技能の習得が図れるよう、その教材で学ぶ事項について明確に提示してあり、学習者が意識しやすくなっています。【学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫】については、各教材に「目標」を示し、「見つけよう」「確かめよう」「生かそう」で学習を進め、P. 42の「生活に広げよう」、P. 43の「振り返って話そう」の流れで主体的に学習できるようになっており、かつ学んだことを生活に生かしていく意識をもてるようになっています。また、「振り返って話そう」により、対話を通して、目標に対して振り返り、評価を行うよう工夫されています。【学習効果を高めるための工夫】として、各手本の筆使いが動画で見られるようになっています。P. 44の「Dマーク」、P. 1のQRコードをスマートフォン等で読み込むことで、Dマークの付いた教材が一括で見られます。動画には、毛筆で書く際のポイントが画面中に示され、ナレーションで解説が入っており、自分で何度も確認できるようになっています。

○三省堂をご覧ください。併せて教科書を使って説明いたします。【思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫】について説明いたします。P. 64で2年生「楷書と行書の使い分け」では、日常のいくつかの場面を設定して、目的や状況に応じて楷書か行書のどちらを選択して書く方がよいか考えさせ、実際に書いてみるという工夫がなされています。【学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫】について、P. 50で「書き方を学ぼう」では、学習内容に関して、点画の組み立て等、文字をどこに気を付けて、どのように書けばよいか、わかりやすく説明文と図によって示すことで、学習内容を自覚でき、自ら学び、活用できるよう工夫されています。また、「書き方を学ぼう」は巻末P. 125から一覧となっており、学習内容について確認しやすくなっています。【毛筆と硬筆との関連】について、P. 44の「書いて身につけよう」では、毛筆で学習したそれぞれの内容について、毛筆で練習した以外の字も硬筆で書き、学習内容について具体的に振り返ることができるようになっています。また、P. 47の左下に「自分が学んだことを書き残そう」という欄があり、学んだことについて自分の言葉でまとめることで、より一層意識するように工夫されています。

○次に、教育出版をご覧ください。【知識及び技能が習得されるようにするための工夫】として、P. 47の「考えよう」で、その教材で学ぶ、毛筆の基本の筆使いが朱墨、薄墨の二色で示され、穂先の動きが筆の写真で示され、わかりやすくなっています。また、筆順、中心線、筆の動きの矢印も示されており、学習者にとって大切な情報が盛り込まれています。【思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫】として、P. 12の「学習内容を効果的にノートに書こう」や、P. 36の「学校生活に活かして書く」により、ノートまとめやレポート、発表等のためのポスター作成などに変役立つ内容になっています。【レイアウトの工夫】では、一つの教材についての学習が見開き2ページで構成されており、レイアウトも整っていて見やすくなっています。また、手本が右ページに配置してあるのも特徴的です。

【学習効果を高めるための工夫】として、巻末P. 100からの「書式の教室」が設けられており、各種書式が豊富に取り上げられており、学んだことが社会生活に生かせるようになっています。

○次に、光村図書をご覧ください。【知識及び技能が習得されるようにするための工夫】として、P. 41の「確かめよう」では、毛筆の筆使いや穂先の位置がわかるように、2色で濃淡をつけた字が示され、始筆、送筆、終筆の際の筆の写真もあることで筆使いの特徴がわかるようになっています。【思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫】について、P. 66の「考えよう」では、生徒が書き込んだり、話し合ったりして考えることで、学習課題について意識できるよう工夫されています。【特記すべき教材や教科の特性】について、教科書の表紙を開けたところに取り外し可能な「書写ブック」があります。これは、硬筆練習帳で、毛筆教材の文字と同じ学習要素をもつ硬筆の課題が設けられており、毛筆の学習を定着させ、硬筆の練習をより多くできるようになっています。【レイアウトの工夫】では、P. 68の行書の基本教材で、半紙原寸大の手本を見開き2ページを使って掲載しています。中心線を示す記号や穂先の位置がわかるようにした2色の字を小さく添えることで、学習者の練習の補助表記としています。

議長	ありがとうございました。事務局より補足等ありますか。
事務局	学校調査結果について、目録順に読み上げます。東京書籍7票、三省堂2票、教育出版11票、光村図書4票、以上でございます。
議長	委員のみなさん、ただいまの調査員長による説明・報告に対して、質問はありますか。
委員	第18採択地区内の子供たちにとって、よりふさわしいと思われる発行者を2者あげるとするならば、どの発行者でしょう。
調査員長	書写調査委員会では、教育出版と東京書籍がよりふさわしいと考えます。教育出版は、現在、本採択地区で使用しております。AB版の大きめな教科書で、見やすく、基本教材の学習が見開き2ページとなっております。レイアウトも整っていて、色についても落ち着いた色合いが使用され、かつ判読しやすい配色になっています。基本から発展、活用までの学習の流れの中で学習事項の定着を図っている構成が、利用しやすく感じます。また、ノートのまとめやレポート作成に役立つ内容も特徴的であり、さらにコラムなどの文字に関する日本の伝統なども多く取り上げられ、生徒の興味を引くようになっているなど、全体として、授業を進めるうえでバランスのとれた充実した教科書と考えます。東京書籍は、教育出版と同じく、AB版の大きめな教科書です。書き込む欄を充実させ、学習のポイントを明確にし、それを意識させつつ段階的に学習を進めていく形がわかりやすく、生徒や教師の目線で作られていると

	感じます。「生活に広げよう」など、身近な生活や実社会と関連させて活用できるよう工夫しているところも推薦する点です。
議長	ほかに質問はございますか。
議長	それでは、これまでを踏まえて協議に入ります。御意見等お願いします。
委員	生徒たちにとっては、基本から活用までの学習過程で、学習事項が確実に定着できる教科書がふさわしいと思います。そのような観点から調査員長の説明をふり返ると、どうでしょう。
委員	そのような観点について、両出版社ともに大変よくできているわけですが、強いて言うならば、教育出版の方がより学習の流れを通して十分定着を図ってくれるような感じもします。
議長	ありがとうございました。ここで、協議を打ち切ります。調査員長は退室してください。委員の皆様は、メモ用紙にご記入ください。
議長	それでは、次に、社会・地図の報告をお願いします。
議長	御多用の中での調査ありがとうございました。では、報告してください。
調査員長	これから、社会科の調査結果の報告をいたします。よろしく願いいたします。まず、地理的分野です。4つの発行者全ての教科書につきましてご報告いたします。 ○まず、『新しい社会 地理』東京書籍の内容についてです。「知識及び技能の習得」に向けて、では、見開きページの右下に「チェック」「トライ」が設けられていて、1時間で習得すべき地理的特色をつかむヒントが明示されています。「スキルアップ」では、地理的技能の着実な習得のために、生徒の発達段階に合わせて難易度が設定されています。「思考力、判断力、表現力等の育成」に向けて、では、各単元のまとめとして、様々な思考ツールが使われていて、生徒が思考を整理しながら学びを深め、課題の解決に迫れるようになっていきます。「学びに向かう力、人間性等の涵養」に向けて、では、「世界の諸地域」「身近な地域」の学習では、SDGsが取り上げられており、現代的な諸課題を理解し、解決しようとする態度を養うことができます。「特記すべき教材や教科の特性」では、「単元を貫く課題」が設定されています。各見開きにも学習課題が設定されていて、問いが構造化されていて、学習の流れが捉えやすい構成です。次に、資料についてです。「学習効果を高めるために」では、小グループで話し合うための「みんなでチャレンジコーナー」が設けられていて、他者の意見を聞いて自分の意見を深められるようになっていきます。表記・表現についてです。地図、写真、グラフなどの資料を比較したり、関連付けたりしやすいよう配置を工夫されています。東京書籍 地理の教科書を総括すると、見開きの半分以上が地図や写真などの資料になっていて、生徒の興味関心を強く引く構成になっています。基礎的・基本的な知識、概念や技能を身に付けながら、それらを基にして多面的・多角的な思考力・判断力・表現力を高める工夫が随所に織り込まれています。本書を学ぶ過程で「なぜ」という問いを立て、それにこたえる活動を通して、持続可能な社会の形成に参画する生徒を育成する工夫がされています。 ○つづいて、『中学社会 地理 地域に学ぶ』（教育出版）の内容についてです。「知識及び技能の習得」では、教科書全体を通して、見開きページ左側に学習課題が明示され、右下の「確認!」「表現!」で本時の学習の重要語句、基礎的な事柄を抑えら

れるような流れになっています。「思考力、判断力、表現力等の育成」では、「地理の窓」「地理の技」など充実したコーナーで、「見方・考え方」を働かせる工夫がされています。「位置や広がり」「結びつき」などの視点を与える工夫がされています。「学びに向かう力、人間性等の涵養」では、「地域調査の方法を学ぼう」「地域の在り方」を学習していく過程で、地域課題の「見える化」を図り、その解決方法について地域の方々と交流する場面が例示されていて、地域社会への参画意識が高まるように工夫されています。「特記すべき教材や教科の特性」では、三分野の学びを関連させ、社会をより深く理解できる構成になっています。「関連」マークや、関連する用語を紙面に載せるなど、工夫がされています。次に、資料についてです。「学習意欲を喚起」では、導入資料に、「Look!」という、詳細な解説が載っていて、生徒の興味関心を引く工夫がされています。表記・表現についてです。見開きページごとに学習課題が設けられています。本文と資料の関連を番号で示すことで、本文と資料が結びつきやすくなるように工夫されています。(教育出版)地理の教科書を総括すると、単元の最後に設定されている「表現しよう」「意見を交換しよう」というコーナーを活用して学習を積み重ねていけば、思考力・判断力・表現力などが着実に身につくような構成になっています。章・節といった「内容のまとめり」ごとに見通し・振り返りの場面が設定されていて、一連の学習を通して段階的に学習を深められる構成になっています。

○つづいて、『社会科 中学生の地理 世界の姿と日本の国土』(帝国書院)の内容についてです。「知識及び技能の習得」では、見開きで1時間の内容が「導入」→「学習課題」→「本文」→「確認しよう」「説明しよう」という展開で構成され、基礎的・基本的な知識、技能を習得できるように工夫されています。「思考力、判断力、表現力等の育成」では、各章末に設定されている「学習を振り返ろう」では、単元を貫く課題に対して章の学習で得た知識を生かし、地理的な「見方・考え方」を働かせながら、思考・判断・表現して解決に導く構成になっています。「学びに向かう力、人間性等の涵養」では、本書を学習していくことで今日的な課題へ意識が高まる構成になっています。「環境」「防災」「人権・平和教育」「グローバル化」「少子高齢化」「情報化」について随所に特設コーナーが設けられています。「特記すべき教材や教科の特性」では、「この教科書の学習の仕方」が掲載されており、家庭学習がしやすいように構成されています。また、随所に二次元コードが設けられ、スマートフォンなどで、自宅でより深く学ぶことができます。次に、資料についてです。「学習意欲を喚起」では、世界と日本の諸地域学習の導入には、「写真で眺める〇〇地方」が設けられており、興味関心を引く工夫がされています。表記・表現についてです。地図の色使いに関しては、濃淡がはっきりしているので高低差がわかりやすいです。(帝国書院)地理の教科書を総括すると、地理的な「見方・考え方」を自然と働かせるように、写真や図版、本文を密接に関連させていて、地理的事象や因果関係を読み取りやすい構成になっています。持続可能な社会に向けて、生徒自身がどのように参画していくか考える場面も設定されています。デジタルコンテンツが充実しています。二次元コードを読み取ると、NHK for school のサイトにアクセスし、動画を見ることができます。

○つづいて、『中学社会 地理的分野』(日本文教出版)の内容についてです。「知識及び技能の習得」では、提示されている資料を深く読み取るための問い「資料活用」が、資料の下に示されていて、資料活用の技能を高めるよう工夫がされています。「思考力、判断力、表現力等の育成」では、見開きページに、学習課題を解決するために働かせる「見方・考え方」が毎時間の課題の下に示されており、生徒は常に「見方・考え方」を意識しながら学習を進めることができます。「学びに向かう力、人間性等の涵養」では、各単元の終わりに、地域的課題や現代の諸問題に対して、自分の意見をまとめる時間が設けられており、よりよい社会を実現しようとする態度を育めるよ

	<p>う工夫されています。「特記すべき教材や教科の特性」では、各ページの下に「小学校との関連」や「歴史との関連」が示されていて、小学校からのつながりや、他分野とのつながりを意識できるようになっています。次に、資料についてです。「学習意欲を喚起」では、「チャレンジ地理」ではディベートや、自分の考え、自分と反対の考えなど、主体的な学びを促して、様々な問題を自分事として考え、深めていく工夫がされています。表記・表現についてです。巻末に用語解説（p280）を設け、地理的用語を「農林水産業」「人口」など6種類に分けて解説しています。（日本文教出版）地理の教科書を総括すると、学習課題を解決する際に、働かせる地理的な「見方・考え方」を明示させています。特に、「位置や広がり」を使うのか、「結びつき」を使うのかなど地理的な「見方・考え方」が自然と意識される構成になっています。豊富な事例と実践的な学びを通して、防災についても学べる工夫がされているなど、地域の在り方を考えることができる構成になっています。以上、4つの発行者全ての教科書につきまして、（地理的分野）の報告を終わりにいたします。</p>
議長	<p>ありがとうございました。事務局より補足等ありますか。</p>
事務局	<p>学校調査結果について、社会地理について目録順に読み上げます。東京書籍13票、教育出版5票、帝国書院9票、日本文教1票、以上でございます。</p>
議長	<p>地理分野の質疑・協議を行います。委員のみなさん、ただいまの調査員長による説明・報告に対して、地理分野での質問はありますか。</p>
委員	<p>地理分野で、第18採択地区内の子供たちにとって、よりふさわしいと思われる発行者を2者あげるとするならば、どの発行者でしょう。</p>
調査員長	<p>「東京書籍」と「帝国書院」です。「東京書籍」は、基礎的・基本的な知識、概念や技能を身に付けながら、それらを基にして多面的・多角的な思考力・判断力・表現力を高める工夫が随所に織り込まれています。本書を学ぶ過程で「なぜ」という問いを立て、それにこたえる作業を通して、持続可能な社会の形成に参画する生徒を育成する工夫がされています。（p206～7）中国四国地方。また、各単元のまとめとして、様々な思考ツール（p195）が使われていて、生徒が思考を整理しながら学びを深め、課題の解決に迫れるようになっていきます。「帝国書院」は、地理的な「見方・考え方」を自然と働かせるように、写真や図版、本文を密接に関連させていて、地理的事象や因果関係を読み取りやすい構成になっています。持続可能な社会に向けて、生徒自身がどのように参画していくか発展的に考える場面も設定されています。（巻頭1 SDGs）また、デジタルコンテンツが充実しています。各章の最初のページに張り付けられている二次元コードを読み取ると、NHK for school のサイトにアクセスし、動画を見ることができます。</p>
議長	<p>ほかに質問はございますか。</p>
議長	<p>それでは、これまでを踏まえて、地理的分野の協議に入ります。御意見等お願いします。</p>
委員	<p>地理的分野は、地図や写真などの資料が大きく、多く掲載されていると、生徒の興味・関心を強く引くと思います。そのような観点からみていくと、どうでしょう。どの教科書も、写真がきれいで大きくて見て飽きない。生徒の立場になって見たときに、素晴らしいと思いました。ただ、私は、領土のところが今、最近問題になって</p>

いるので、どんな表現なのか、北方領土、竹島、尖閣諸島、この部分は年代を追って細かく書いてある教科書もあるし、中学生向けに、中学生にわかるような表現で、今もこのような課題がありますと書いてある。このような観点で見ますと、東京書籍が良かったと思います。また、みんなでチャレンジというコーナーがあります。沖ノ鳥島を取り上げて、そこの経済的排他水域はどれくらいあるかについて計算させるという工夫がある。そういう観点からも東京書籍が良いと思いました。

議長

ありがとうございました。ここで、地理的分野の協議を打ち切ります。委員の皆様は、メモ用紙にご記入ください。

調査員長

つづいて、歴史的分野です。

○『新しい社会 歴史』（東京書籍）の内容についてです。「知識及び技能の習得」では、見開きを1単位時間とし、導入資料、学習課題、本文、「チェック」「トライ」で構成されています。また、小学校の学習事項が年表に位置づけられています。「思考力、判断力、表現力等の育成」では、章末「まとめの活動」で「クラゲチャート」、「Xチャート」、「ピラミッドストラクチャ」等の思考を整理するための思考ツールを活用した学習活動が設けられています。「学びに向かう力、人間性等の涵養」では、1単位時間の学習で追究する学習課題を示し、生徒が見通しをもって主体的に学習を進められるように工夫されています。「特記すべき教材や教科の特性」では、デジタル教科書やコンテンツが豊富です。特に、生徒がつまづきやすい学習内容の理解を助けるため、「Dマークコンテンツ」のQRコードを読み取ることで詳しい解説で定着が図られるよう工夫されています。次に、資料についてです。「学習効果を高める」では、小集団の協働的な活動のコーナーとして「みんなでチャレンジ」が設けられ、対話的な授業が実践できるよう工夫されています。表記・表現についてです。見開きで資料に通し番号がつけられ、対応する本文の上にも番号がつけられ、本文と資料との関係が読み取りやすいよう工夫されています。（東京書籍）歴史の教科書を総括すると、課題をつかむ「導入」―課題を追究する「展開」―課題を解決する「まとめ」という単元を構造化し、課題解決的な学習に取り組みやすい構成になっています。「歴史的な見方・考え方」を働かせられる場面が示されていたり、まとめの仕方が例示されていたりして、学習が深められるようになっています。小学校の学習を振り返り、単元を貫く探究課題をつかむ導入の活動が、1時間の授業時数として設定されており、課題を追究する学習を実現しやすくしています。

○『中学社会歴史 未来をひらく』（教育出版）の内容についてです。「知識及び技能の習得」では、見開き1時間の最後に、学習したことを整理しながらまとめる「確認」のコーナーが設けられ、学習事項の確実な定着が図られるよう構成されています。「思考力、判断力、表現力等の育成」では、地図・グラフ・絵・図解などの資料を読み取って、考察する学習活動を示す「読み解こう」のコーナーが、教科書中17カ所に設けられています。「学びに向かう力、人間性等の涵養」では、巻末「歴史学習の終わりに～歴史を振り返って、未来を構想しよう～」では、これからの社会を築いていくため、自分たちには何ができるかを考察・構想し、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養えるように工夫されています。「特記すべき教材や教科の特性」では、歴史学習の最後にSDGsの視点を位置づけ、公民的分野の学習へと滑らかに接続していけるように工夫されています。次に、資料についてです。「学習効果を高める」では、教科書冒頭の「歴史にアプローチ」では、中学校での歴史学習の進め方や「見方・考え方」の働かせ方を確認できるよう構成され、学習活動に役立つよう工夫されています。表記・表現についてです。本文は敬体で、参照ページが設けられています。資料には、見開きで通し番号が付けられ、本文の関連箇所にも同じ番号が付けられています。（教育出版）の教科書を総括すると、教科書全体を通して、

現代社会に見られるさまざまな課題やそれにつながる歴史を取り上げ、自分と社会・歴史とのつながりについて、考えを深められるように配慮されています。章の学習を見通す導入ページ「学習を始めよう」や章の学習を振り返る「学習のまとめと表現」など内容のまとまりを意識させることで、主体的な学びが実現しやすい構成に工夫されています。

○『社会科 中学生の歴史 日本の歩みと世界の動き』（帝国出版）の内容についてです。「知識及び技能の習得」では、見開きを1単位時間とし、導入、学習課題、本文で構成されています。また、「確認しよう」「説明しよう」を位置付けて、学習内容を振り返れるようになっています。「思考力、判断力、表現力等の育成」では、「章の学習を振り返ろう」では、歴史的な見方・考え方を働かせて、考えを整理し、話し合い、説明することで学びを深められるように工夫されています。「学びに向かう力、人間性等の涵養」では、単元を貫く「章の問い」、各見開きの「学習課題」、節末や章末の振り返りなど、問いが構造化され、単元のまとまりの中で「深い学び」が実現できる構成になっています。「特記すべき教材や教科の特性」では、「タイムトラベル」では単元のはじめに、大きな図で時代の特色を見通し、主体的に学ぼうとする関心をかきたてようと工夫しています。次に、資料についてです。「レイアウトの工夫」では、見開きの右端に「年表インデックス」が掲載され、巻頭の日本の歴史年表・巻末の世界史年表と照らし合わせて確認するように工夫されています。表記・表現についてです。1単位時間の見出し・資料名・重要語句は、太字で表記されています。見通しをもつための学習課題と学習内容を確認・説明するための課題が2つ示されています。（帝国書院）の教科書を総括すると、時代の冒頭、時代の様子が生き生きと描かれたイラスト「タイムトラベル」で、興味・関心を高めるだけでなく、歴史的な見方・考え方を働かせられる視点を示すなど、使い方が多岐にわたるよう工夫されています。教科書全体を通して、さまざまな立場や選択を踏まえて考察する活動が設けられたり、歴史上の人々が連携・協働して課題の解決に取り組む姿が紹介されたりして、多面的・多角的に歴史をとらえられるように配慮されています。

○『中学歴史 日本と世界』（山川出版社）の内容についてです。「知識及び技能の習得」では、第1章「歴史との対話」では、歴史を学ぶための基礎知識と、歴史の調べ方を示し、歴史学習に必要な技能が習得できるように工夫されています。「思考力、判断力、表現力等の育成」では、「歴史を考えよう」では、美術作品や史料・地図、憲法や選挙等が取り上げられ、話し合いや考察を通して、歴史的思考力を高めるような工夫がされています。（富岡製糸場）「学びに向かう力、人間性等の涵養」では、「身近な地域を調べよう」では、調査の順序、注意事項等を示し、生徒が主体的に取り組めるように工夫されています。「特記すべき教材や教科の特性」では、近代以降が高校の新科目「歴史総合」につながる部分であること意識して、近代以前と以降でベースに使用する色彩を（緑から紫へ）わけています。次に、資料についてです。「学習効果を高める」では、高校の社会科で扱う史料は、中学生にもわかるように口語訳で表記されています。表記・表現についてです。本文は常体で記され、参照ページを朱書きで示しています。資料には、見開きで通し番号が付けられ、本文の関連箇所にも同じ番号があり、参照できるようになっています。（山川出版社）の教科書を総括すると、歴史を学ぶ力を養うために、教科書全体が「流れをつかむ」「歴史を考える」「世界史を知る」という3つのポイントで構成されています。また、高校での学習につながる教科書として、本文の構成や資料等が工夫されています。文字サイズは他社より小さく、行数も多くなっています。世界の歴史を中心に構成されたページ数が、60ページと、他社に比べ多くなっています。

○『中学社会 歴史的分野』（日本文教出版）の内容についてです。

「知識及び技能の習得」では、歴史学習で必要な技能を習得する「スキルUP」コーナーが9カ所設けられ、社会的事象について調べ、まとめる技能が身に付けられるよ

うに工夫されています。「思考力、判断力、表現力等の育成」では、第1編「私たちと歴史」で、歴史的な見方・考え方の働かせ方を学習し、全ての見開きには、学習課題の解決に向けた手がかりとして、「見方・考え方」の例が示されています。「学びに向かう力、人間性等の涵養」では、「『歴史との対話』を未来に活かす」では、よりよい社会の実現を視野に、課題を主体的に解決しようとする態度を養えるよう、テーマ別さくいと、それを活用して取り組む課題例が示されています。「特記すべき教材や教科の特性」では、現代の諸課題の歴史を調べる学習に活用できる「テーマ別さくいん」が設けられています。次に、資料についてです。「学習効果を高める」では、歴史の学習を豊かなものにするために「先人に学ぶ」、「女性史コラム」、「地域に学ぶ」など、特設ページやコラムが設けられています。表記・表現についてです。資料には、見開きで通し番号が付けられ、本文の関連箇所にも同じ番号が付けられています。見開きの下部には、小学校で学習した人物や地理・公民との連携が示されています。（日本文教出版）の教科書を総括すると、本書の特色として、学習課題の解決に向けて手がかりとなる主な「見方・考え方」の例を、全ての見開きページに示しています。カラーユニバーサルデザインに配慮され、落ち着いた色調で全体的に統一されています。また、資料も大きく、大判ページを入れるなど、生徒の意欲を喚起する工夫が随所に見られます。

○『[最新]新しい日本の歴史』（育鵬社）の内容についてです。「知識及び技能の習得」では、「地域の歴史を調べてみよう」では、身近な地域の歴史の情報を収集し、レポートにまとめ、発表するという技能を高める方法が示されています。「思考力、判断力、表現力等の育成」では、見開きの「学習のまとめ」の鉛筆マークでは、学習内容をレポートや論述形式でまとめたり、解釈したりする問いが設けられ、多様な言語活動に取り組める工夫がされています。「学びに向かう力、人間性等の涵養」では、「歴史のターニングポイント」では、生徒が「もし、その時、私が当事者だったら」という意識で、歴史と向き合えるように工夫されています。「特記すべき教材や教科の特性」では、「なでしこ日本史」では各時代を代表する15人の女性たちを紹介しています。次に、資料についてです。「学習意欲を喚起」では、各章の扉には、各時代を象徴する「船」が取り上げられ、「海洋国家・日本の歩み」を考える工夫がされています。表記・表現についてです。見開きの「見出し・資料名・重要語句」は、太字で表記されています。見開きに、見通しをもつための学習課題と学習のまとめの二つの課題が示されています。（育鵬社）の教科書を総括すると、歴史学習の導入、各章の導入、毎時間のまとめ、「歴史のターニングポイント」（p150 鎖国はよかったのか）など、歴史的な事象を自分事としてとらえさせることで、主体的に歴史の学習に取り組めるような構成となっています。学習内容の理解をより深める「歴史ズームイン」、多面的・多角的に考える視点を提示する「歴史ビュー」、歴史上の人物の活躍を紹介する「人物クローズアップ」等のコラムが設けられ、学習に具体性や発展性を持たせるように配慮されています。

○『ともに学ぶ人間の歴史』（学び舎）について、でございます。「知識及び技能の習得」では、章の扉のページで学習課題を示し、章の後の部のおわりに章を振り返る部の学習のまとめができるように工夫がなされています。「思考力、判断力、表現力等の育成」では、では、特設ページ「歴史を探検する」で活動を通して考えたことを話したり発表し合ったりするよう問いが設定されています。「学びに向かう力、人間性等の涵養」では、特色ある図版と記述等から疑問が浮かぶような工夫がされています。「特記すべき教材や教科の特性」につきましては、現代史の学習21世紀までテーマを設定し、歴史的な事象を今日の社会と結び付け、よりよい日本の社会と世界の実現を視野に考えるよう工夫がなされています。次に、資料についてです。学習効果を高めるために、側注、グラフ、資料等から歴史的な事象や課題について、多面的多角的に考えられるようになっております。巻末の年表で日本

の社会、政治、経済、日本の文化、宗教が世界の出来事と関連付けて掲載がなされております。(学び舎)の歴史の教科書を総括しますと、生徒の主体的な学びの実現を目指して、図版や記述の工夫がされております。女性や子どもなど、様々な分野、様々な人々の生活を学ぶことで、誰もが個人として尊重しあえる社会について考えを深められるような内容がございます。また、地図、グラフ、色覚、特性に配慮された、そういったデザインとなっております。

以上、7つの発行者全ての教科書につきまして、(歴史的分野)の報告を終わりにいたします。

議長 ありがとうございます。事務局より補足等ありますか。

事務局 学校調査結果について、社会地理について目録順に読み上げます。東京書籍13票、教育出版5票、帝国書院9票、山川出版0票、日本文教1票、育鵬社0票、学び舎0票、以上でございます。

議長 続いて、歴史的分野の質疑・協議を行います。委員のみなさん、歴史的分野での質問はありますか。

委員 歴史的分野で、第18採択地区内の子供たちにとって、よりふさわしいと思われる発行者を2～3者あげるとするならば、どの発行者でしょう。

調査員長 「東京書籍」と「帝国書院」です。「東京書籍」は、課題をつかむ「導入」、中世一課題を追究する「展開」一課題を解決する「まとめ」、中世という単元を構造化し、課題解決的な学習に取り組みやすい構成になっています。「まとめの活動」で、「クラゲチャート」、「Xチャート」、「ピラミッドストラクチャ」等の、思考ツールを活用した多様な学習活動を紹介しています。また、デジタル教科書やデジタルコンテンツが充実しています。特に、生徒がつまづきやすい学習内容の理解を助けるために、「Dマークコンテンツ」が設けられており、QRコードを読み取ることで詳しい解説で、定着が図られるよう工夫されています。「帝国書院」は、単元を貫く「章の問い」、各見開きの「学習課題」、節末や章末の振り返りなど、問いが構造化され、単元のまとまりの中で「深い学び」が実現できる構成になっています。

時代の冒頭の、時代の様子が生き生きと描かれたイラスト「タイムトラベル」は、興味・関心を高めるのに効果的です。それだけでなく、歴史的な見方・考え方を働かせられる視点を示すなど、使い方が多岐にわたるよう工夫されています。

議長 ほかに質問はございますか。

議長 それでは、これまでを踏まえて、歴史的分野の協議に入ります。御意見等お願いします。

委員 歴史的分野を考えると、課題をつかむ段階、課題を追究する段階、課題を解決する段階、というように、学習の流れが段階的になっていると、子供たちの理解が深まると思います。こうした観点から調査員長の説明をふり返ると、どうでしょう。

委員 調査委員長さんのご説明、それから今のお話を伺って、課題解決的な学習の形成であると改めて思いました。歴史学習は様々な資料を活用して、歴史を多面的多角的に考察して、そのことを公正に判断して、想像力を育む。そうやって歴史認識を深めていくという原則を踏まえますと課題解決する学習に重点を置いて取り組んできた東京書

	<p>籍等が改めてよく取り組んできた」と改めて思いました。そういった観点から考えていくと良いと感じました。</p>
委員	<p>今の説明がありました。部差解消法ができて数年が経ちました。そこで、身分関係と解放令のそれぞれを比較させていただきました。量的には東京書籍が一番多い方だったと思います。同じ写真を別の教科書会社が使っている部分があるのですが、東京書籍は差別された人がという表現で写真を載せて説明していましたので、私は東京書籍がいいと思いました。</p>
議長	<p>ありがとうございました。ここで、歴史的分野の協議を打ち切ります。委員の皆様は、メモ用紙にご記入ください。</p>
調査員長	<p>つづいて、公民的分野です。</p> <p>○『新しい社会 公民』（東京書籍）の内容についてです。「知識及び技能の習得」では、単元終末の「学習をふり返ろう」の場面で、学習内容の定着を図るようにしています。「読み取る」では、図表の読み取り方や写真資料の比較をさせ、技能の習得につながるような工夫があります。「思考力、判断力、表現力等の育成」では、ツールミン図式、くらげチャートなど、様々な思考ツールを使って、思考の整理を促すようにしています。「学びに向かう力、人間性等の涵養」では、世界に広がる日本の伝統文化やポップカルチャーなどを紹介し、日本文化に対する誇りと愛情をもてるようにしています。また、「SDGs」を取り上げて、国際社会の中で我が国が果たす役割を考えることができるようにしています。「特記すべき教材や教科の特性」では、新しい話題として、「働き方改革」「性の多様性」などを紹介し、「18歳へのステップ選挙の流れ」では、主権者教育に必要な、主体的に選択・判断する活動を取り入れています。次に、資料についてです。「学習意欲を喚起」では、「導入の活動」だれを市長にでは、身近に見られる場面から探究課題を見出す構成にしており、「まとめの活動」条例づくりでは、単元の探究課題を再提示し、課題を解決させるよう工夫がされています。表記・表現についてです。学習のまとめ(章)ごとに「課題をつかむ」「課題を追究する」「課題を解決する」という学習段階を示し、問題解決的な学習を促す構成になっています。(東京書籍)の教科書を総括すると、学習のまとめごとに「課題をつかむ」「課題を追究する」「課題を解決する」という、問題解決的な学習を促す構成になっています。また、各時間における「社会的な見方・考え方」がイラストで示されていたり、まとめの方法が難易度別に2段階になっていた(チェック、トライ)、生徒が学習に取り組みやすくなっています。デジタル教科書は、教師用も生徒用も多くのコンテンツを持ち操作性に優れています。生徒にとって視覚的に分かりやすい授業の展開が期待されます。</p> <p>○『中学社会 公民 ともに生きる』（教育出版）の内容についてです。「知識及び技能の習得」では、「読み解こう」教育費グラフや「公民の技」求人広告というコーナーでは、図表の読み取り方の比較をさせるなど、技能の習得につながるよう工夫されています。「思考力、判断力、表現力等の育成」では、「言葉で伝え合おう」のコーナーでは、話し合い活動を通じて生徒が思考したことを表現できるよう工夫されています。「学びに向かう力、人間性等の涵養」では、ほぼ全編にわたり、SDGsとの関連が図られています。公民的分野の学習内容が、世界共通で解決すべき課題につながることを実感できるようになっています。「特記すべき教材や教科の特性」では、冒頭の「公民にアプローチ」では、情報収集と活用に関して、各メディアの長所と短所を端的に説明し、調べ学習の際の参考になるようにしています。次に、資料についてです。「レイアウトの工夫」では、本時のまとめとして、自分でまとめを行う「確認」と、学習内容について対話を促す「表現」という構造により、授業のまとめかたの幅</p>

を広げられるよう工夫されています。表記・表現についてです。豊富な写真や統計資料が掲載されています。また、それらの資料を使った問いかけの発問が設定されていて、授業中の発問として活用しやすいようになっています。（教育出版）の教科書を総括すると、章や単元の導入、「給食を一人で作ったら」で、生徒に現代社会の疑問を抱かせ、その後の展開に対する関心を高め、終末の「学習のまとめと表現」でプレゼンテーションなどの多様な表現活動につなげる構成になっています。全体としてSDGsの視点を貫くことで、公民の学習に「持続可能性」という一貫性をもたせています。（見開きの右下に表示）

○『社会科 中学生の公民』（帝国書院）の内容についてです。「知識及び技能の習得」に向けて、では、章ごとに、ディスカッションやディベートなどのやりかたを「技能をみがく」として設定しており、表現力の育成につながるようになっています。KJ法「思考力、判断力、表現力等の育成」では、各章のまとめに「見方・考え方を働かせて考えよう」というコーナーがあり、その章で身に付けた現代社会の見方・考え方を学んだまとめや意見交換を促すよう工夫されています。対立と合意「学びに向かう力、人間性等の涵養」では、各章の導入では、身近な街中の光景から課題を探りだし、「章の学習を振り返ろう」では「自分なら社会や世界とどう関わるか」というまとめかたをしています。学んだことを、「自分事」にして意思表示や考えを構想するつくりは、主権者教育にも通じる工夫です。「特記すべき教材や教科の特性」では、新しい話題として、「クラウドファンディング」「ドローンの活用」などを紹介し、単元内の内容と結び付けて学習できるようになっています。次に、資料についてです。「レイアウトの工夫」では、大きく、ワイドで迫力ある写真を導入に用いているページがあり、一目で生徒の関心を引くことができるよう工夫されています。表記・表現についてです。本文は必要なことを比較的コンパクトにまとめた表記になっており、分量は多くないので読みやすくなっています。その分、写真は大きく、資料は多い構成になっています。（帝国書院）の教科書を総括すると、章の構成が、生徒にとって身近な街中から課題を見出し、学んだことをもとに構想して課題解決していく流れとなっています。生徒一人一人が近い将来の主権者として自覚を持ちつつ学べるようになっており、「社会や世界とどう関わるか」考え続ける公民の授業をしやすいよう工夫されています。デジタル教科書の併用で、生徒にとって視覚的に分かりやすい授業が展開しやすくなっています。

○『中学社会 公民的分野』（日本文教出版）の内容についてです。「知識及び技能の習得」では、「資料活用」の見出しには、資料を読み取らせるための発問が併記されています。生徒にとって手助けとなり、教師にとってもそのまま授業中の発問として利用できます。「思考力、判断力、表現力等の育成」では、各章のまとめにあたる「学習の整理と活用」では、フリーカード法やダイヤモンドランキングなどの様々な思考ツールを活用できるよう工夫されています。「学びに向かう力、人間性等の涵養」では、単元の終末、「チャレンジ公民」のコーナーでは、政策提言など、どう社会や世界と関わるかについて考えられるようにして、主権者教育につながる内容となっています。「特記すべき教材や教科の特性」では、新しい話題として、「ビッグデータ」（p59）「規制緩和と民営化」などを紹介し、単元内の学習内容と結び付けて学習できるようになっています。次に、資料についてです。「学習意欲を喚起」では、冒頭で、提起としてSDGsの視点を示し、公民的分野への学習意欲を高めようとしています。表記・表現についてです。イラストや漫画を使った説明が多く、文章から読み取るのが苦手な生徒にも、社会的事象に親しみやすいよう配慮されています。（日本文教出版）の教科書を総括すると、全体として、色づかいの配慮やイラストや漫画を使った構成など、見栄えに工夫が多くみられます。イラストや漫画によって、授業や家庭での学習にスムーズに入っていくきっかけになることが期待できます。デジタル教科書の使用も設定されているため、教科書とデジタル教科書との併用で、生徒にとって視覚的

に分かりやすい授業の展開が期待できます。

○『中学社会 新しい公民教科書』（自由社）の内容についてです。「知識及び技能の習得」では、本文の分量が多く、特に、天皇に関すること、安全保障に関すること、国際社会との関係性についてなどは、多くのページを割き、理解を促そうとしています。「思考力、判断力、表現力等の育成」では、各章の終末にある「アクティブに深めよう」では、特定のテーマについて、登場キャラクターによる多面的、多角的な意見を参考に、自分の考えを表現していく構造になっています。「学びに向かう力、人間性等の涵養」では、第1章の「家族愛・愛郷心から愛国心へ」などで、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員そして我が国の将来を担う国民としての自覚を養えるようにしています。「特記すべき教材や教科の特性」では、新聞社による記事の書き方の違いを学ぶ場として、社説4社分を比較できるようになっており、メディアリテラシーについて学べるよう工夫されています。次に、資料についてです。「学習意欲を喚起」では、経済分野の章末にある「アクティブに深めよう」では、店の出店計画の企画書づくりをとおして、将来、自分の店を持つという自分事として考えさせるよう工夫しています。表記・表現についてです。全体として、文の量が多く、詳細な理解ができる一方、難解な語句については、本文脇に説明書きが付されています。そのため、紙面の大部分が文章や文字資料になっています。（自由社）の教科書を総括すると、本文の分量が他社と比較して多いので、読みごたえがあります。また、天皇に関すること、安全保障に関すること、国際社会との関係性についてなどに関しては、かなり詳しく内容を載せています。写真や統計資料などは精選されており、文章との比率で見ると多くない構成です。「国際社会」に関する第5章と終章には多くのページを割り当て、生徒と世界との関わりを強く意識させようとしています。

○『新しいみんなの公民』（育鵬社）の内容についてです。「知識及び技能の習得」では、日本国憲法については、巻末において用語の解説を加えることで、生徒が条文を読み取りやすくしています。「思考力、判断力、表現力等の育成」では、思考力、判断力、表現力を育成するための話し合い活動を、全ての時間で設定し、発問を鉛筆マークで表示しており、授業で発問しやすいよう工夫されています。「学びに向かう力、人間性等の涵養」では、最終章では、総理大臣となって「国づくり計画書」を作成する中で、学んできたことの振り返りや学びの深化を図っています。また、主権者として、どう社会や世界と関わるかについて考えることができます。「特記すべき教材や教科の特性」では、新しい話題として、「SDGs」「AIやロボットにとって代わられる職業と残る職業」などを紹介し、これらと単元内の学習内容とを結び付けて学べるよう工夫されています。次に、資料についてです。「学習効果を高める」では、最終章の「よりよい社会をめざして」では、具体的な探究のテーマを多く紹介しています。テーマ選びの助けとなるよう工夫されています。表記・表現についてです。一時間単位の学習内容となる見開きの本文の分量はやや多いですが、本文の周囲の資料の大きさを見やすい範囲内で揃え、色づかいを抑えめにするすることで、見開き全体としては見やすくなっています。（育鵬社）の教科書を総括すると、章の導入で「なぜ学ぶのか」政治の入り口を明確に示し、一時間ごとの学習の目標やまとめを確実にを行い、章の終末では重要語句の確認と探究的な学習を配置する構成になっており、生徒にとって使いやすくわかりやすいようにしています。デジタル教科書の併用で、生徒にとって視覚的に分かりやすい授業の展開ができるよう工夫されています。

以上、6つの発行者全ての教科書につきまして、（公民的分野）の報告を終わりにいたします。ありがとうございました。

議長

ありがとうございました。事務局より補足等ありますか。

事務局

学校調査結果について、社会公民について目録順に読み上げます。東京書籍13票、

	<p>教育出版4票、帝国書院9票、日本文教1票、自由舎0票、育鵬社0票、以上でございます。</p>
議長	<p>続いて、公民分野の質疑・協議を行います。委員のみなさん、公民分野での質問はありますか。</p>
委員	<p>公民分野で、第18採択地区内の子供たちにとって、よりふさわしいと思われる発行者を2～3者あげるとするならば、どの発行者でしょう。</p>
調査員長	<p>「東京書籍」と「帝国書院」です。「東京書籍」は、学習のまとめりに「課題をつかむ」「課題を追究する」「課題を解決する」という学習段階を進めていくことで、問題解決的な学習を促す構成になっています。また、各時間における「社会的な見方・考え方」が示されていたり、まとめの方法が難易度別に2段階になっていたり、生徒が学習に取り組みやすいつくりとなっています。ダイヤモンドランキング、くらげチャートなど、様々な思考ツールを使って、思考の整理を促すようにしています。長年のノウハウを生かしたデジタル教科書は、教師用も生徒用も多くのコンテンツを持ち操作性に優れています。「帝国書院」は、各章のまとめに「見方・考え方を働かせて考えよう」というコーナーがあり、その章で身に付けた現代社会の見方・考え方を活かしたまとめや意見交換を促すよう工夫されています。「アクティブ公民」のコーナーで、章で学んだことを生かした話合いの題材を多く提案しており、身近で起きている事例から実感できるよう工夫されています。また、デジタル教科書の併用で、生徒にとって視覚的に分かりやすい授業が展開しやすくなっています。</p>
議長	<p>ほかに質問はございますか。</p>
議長	<p>それでは、これまでを踏まえて、公民的分野の協議に入ります。御意見等お願いします。</p>
委員	<p>どの教科書も子供たちが考え表現できるような活動が工夫されているなあと思いました。たくさんの思考ツールが紹介されたり、具体的なツールが使われていたり、問題解決的な学習の取組みやすさという点を考えると東京書籍が良いと思いました。</p>
委員	<p>公民分野は、子供たちの参画意識を高めるために、様々な思考ツールを使って、多様な学習活動に取り組むことが重要だと思います。そのような観点から調査員長の報告をふり返ってみると、どうでしょう。</p>
議長	<p>ありがとうございました。ここで、公民的分野の協議を打ち切ります。委員の皆様は、メモ用紙にご記入ください。</p>
調査員長	<p>「地図帳」の調査結果を報告いたします。 ○まず、『新しい社会 地図』東京書籍の内容についてです。「知識及び技能の習得」では、地域の特徴的な事象を「注目したい記号」の形で示すことで、地図の読み取りなどの地理的技能的習得を図る工夫がなされています。「思考力、判断力、表現力等の育成」では、地理的分野の諸地域学習の探究課題に沿って、学習する際に活用できるテーマ資料が多数掲載されています。「学びに向かう力、人間性等の涵養」では、巻頭の特集ページで、SDGsを中心に、8ページにわたって豊富な資料を掲載し、現代的な諸課題を的確に捉え、それらの解決に向けて主体的に取り組む態度の育成を図っています。「特記すべき教材や教科の特性」では、歴史の教科書に密接に関連した補</p>

充資料により、歴史的分野での探究学習に地図帳を活用できるよう工夫されています。次に、資料についてです。「学習効果を高める」では、巻末に「資料索引」を設け、資料の検索性を高めることで、資料を活用した学習が主体的に進められるように工夫されています。次に表記・表現についてです。折り込みページにより、地図記号を確認しやすくしたり、巻頭に地図の見方や資料の活用方法を示したりしており、地図を使いやすくなるように工夫されています。東京書籍の地図帳を総括すると、世界の各州を3枚の地図に同縮尺で掲載し、地球儀の代替として使用できるように工夫されています。歴史的分野や公民的分野で活用できる特設ページが設けられており、活用度を高める工夫がなされています。

○つづいて、『中学校社会科地図』帝国書院の内容についてです。

「知識及び技能の習得」では、巻頭の「地図帳の使い方」に、地図帳の基本的な見方や活用方法がわかりやすく示されています。「思考力、判断力、表現力等の育成」では、巻末の統計資料は、項目ごとに上位国や県は赤字で示されるなど、数値的に各国・各地域の特色や差異を捉えやすいように配慮されています。また、県別統計資料には、地方別合計欄があり、地方どうしの比較が容易に説明できるように工夫されています。

「学びに向かう力、人間性等の涵養」では、巻頭と巻末の資料図で、各ページに学習課題を設け、そのページで扱うテーマを追究する際の着眼点を示しています。「特記すべき教材や教科の特性」では、「日本の自然災害・防災」の特設ページが設けられ、日本で起こりうる災害と、それらへの対策が理解できるように工夫されています。また、ハザードマップと地形図の比較から、防災における地図の有用性を理解できるように工夫されています。次に、資料についてです。「学習効果を高める」では、世界の各州には、イラストを配した鳥瞰図があり、地域の特色を視覚的に捉え、大観できるようになっています。次に、表記・表現についてです。世界地図には、世界の国々と日本の大きさや、緯度・経度による位置関係の比較ができるように、随所に同緯度・同経度・同縮尺の日本地図が掲載されています。帝国書院の地図帳を総括すると、大判化により、地図をより広範囲で示せるようになり、地域間のつながりを捉えやすくなっています。一方、軽量化を図っており、持ち運びの負担を減らすよう工夫されています。また、日本の各地域における、災害への備えや起こりうる災害について読み取ることができる資料が掲載されています。

以上、2つの発行者全ての教科書につきまして、「地図」の報告を終わりにいたします。ありがとうございました。

- 議長 ありがとうございます。事務局より補足等ありますか。
- 事務局 学校調査結果について、地図について目録順に読み上げます。東京書籍11票、帝国書院13票、以上でございます。
- 議長 続いて、地図の質疑・協議を行います。委員のみなさん、地図での質問はありますか。
- 委員 地図では、今、使用しているのは帝国書院で、子供たちは使い慣れています。これまで使い慣れてきた帝国書院でも良いのではないのでしょうか。
- 議長 ほかに質問はございますか。
- 議長 それでは、これまでを踏まえて地図の協議に入ります。御意見等お願いします。ありがとうございました。ここで、地図の協議を打ち切ります。調査員長は退室してください。委員の皆様は、メモ用紙にご記入ください。

議長	それでは、これより選定に入ります。なお、選定は投票によるものとなっております。
議長	投票の仕方について事務局から説明願います。
事務局	投票について説明いたします。本規約第11条、「各委員が選定すべきと考える教科用図書に投票を行い、過半数の投票を得たものを選定する。」より行うものです。投票により、過半数を得た教科書を選定します。3票ずつ2者に割れた場合は会長が決めます。過半数を得なかった場合は上位2者で再度投票を行います。上位2者が選べない場合は会長が2者を決め、再度投票を行います。再度投票の結果、過半数を得た教科書を選定します。投票数が同票の場合は、会長が決めます。以上が選定に係る投票の説明となります。このあと、事務局が投票用紙を配付いたします。お手元に、投票用紙が配られましたら、その発行者の中から1者を選び、ボールペンで○をお付けください。その際、先ほど用いたメモ用紙を参考に○をお付けください。なお、後ほど、事務局が投票箱をお持ちしますので、投票用紙を1回折ってお入れください。
議長	ただいまの説明につきまして、質問はありますか。
議長	それでは、投票を行います。事務局は準備願います。
事務局	開票いたします。 国語 教育出版 書写 教育出版 社会地理 東京書籍 社会歴史 東京書籍 社会 公民 東京書籍 地図 帝国書院 国語 教育出版 書写 教育出版 社会地理 東京書籍 社会歴史 東京書籍 社会 公民 東京書籍 地図 帝国書院 国語 教育出版 書写 教育出版 社会地理 東京書籍 社会歴史 東京書籍 社会 公民 東京書籍 地図 帝国書院 国語 教育出版 書写 教育出版 社会地理 東京書籍 社会歴史 東京書籍 社会 公民 東京書籍 地図 帝国書院 国語 教育出版 書写 教育出版 社会地理 東京書籍 社会歴史 東京書籍 社会 公民 東京書籍 地図 帝国書院 以上でございます。
議長	開票結果を報告願います。
事務局	国語、書写、社会地理分野、社会歴史分野、社会公民分野、地図の開票結果をご報告いたします。 国語、（東京書籍）（0）票、（三省堂）（0）票、（教育出版）（6）票、（光村図書）（0）票。 書写、（東京書籍）（0）票、（三省堂）（0）票、（教育出版）（6）票、（光村図書）（0）票。 社会地理分野、（東京書籍）（6）票、（教育出版）（0）票、（帝国書院）（0）票、（日本文教）（0）票。 社会歴史分野、（東京書籍）（6）票、（教育出版）（0）票、（帝国書院）（0）票、（山川出版）（0）票、（日本文教）（0）票、（育鵬社）（0）票、（学び舎）（0）票。 社会公民分野、（東京書籍）（6）票、（教育出版）（0）票、（帝国書院）（0）票、

(日本文教) (0) 票、(自由社) (0) 票、(育鵬社) (0) 票。
地図、(東京書籍) (0) 票、(帝国書院) (6) 票。
以上でございます。

議長

それでは、確認致します。
国語は教育出版が過半数を得ましたので教育出版を選定いたします。
書写は教育出版が過半数を得ましたので教育出版を選定いたします。
社会地理は東京書籍が過半数を得ましたので東京書籍を選定いたします。
社会歴史は東京書籍が過半数を得ましたので東京書籍を選定いたします。
社会公民は東京書籍が過半数を得ましたので東京書籍を選定いたします。
地図は帝国書院が過半数を得ましたので帝国書院を選定いたします。

議長

ここで休憩時間をとります。会議の再開時刻を 11:50 とします。

議長

それでは再開いたします。数学の報告をお願いします。

議長

御多用の中での調査ありがとうございました。では、報告してください。

調査員長

数学科の調査結果を報告いたします。よろしく願いいたします。数学科では、東京書籍、大日本図書、学校図書、教育出版、啓林館、数研出版、日本文教出版の 7 つの発行者の教科書があります。目録順にご説明いたします。

○初めに、東京書籍からご説明いたします。東京書籍の教科書は、生徒が学ぶ意欲をかきたてられるような動機付けを図るために、実社会や実体験をもとにした導入を用いて、数学と日常生活の結びつきを確認することができるよう構成されています。また、問題解決の場面では、考えるプロセスを明示することで、生徒が学習するときの助けとなるように工夫されています。主な特徴について、2年生の教科書で説明させていただきます。35～37ページをご覧ください。「章とびら」では、日常生活の場面を 1 コマのイラストで提示し、生徒の関心・意欲を引き出す工夫がなされています。49～50ページをご覧ください。日常生活の問題解決や数学の新しい性質を発見したりする活動に生徒が主体的に取り組むことができるように「深い学び」のページ側注には、思考過程に沿って、生徒が自ら考え、話し合いを通して学びを深める授業展開になるよう工夫されています。177～182ページをご覧ください。「箱ひげ図」の学習では、コンビニのリアルデータを用いた教材となっており、実社会での体験につながるような教材となっています。さらに、186ページにあるような、マークの付いた D マークコンテンツでは、インタビュー映像が閲覧でき、キャリア教育にもつながるよう工夫されています。

○次に、大日本図書についてです。大日本図書の教科書は、既習事項を関連付け、身近な課題に取り組み、数学的な見方・考え方を働かせ、生徒の「わかった!」「できた!」という理解や発見、生徒同士による数学的な対話を通して、豊かな数学の授業になるために工夫された構成になっています。より豊かな学習内容になるように登場人物や資料にも異文化理解の視点を取り入れたり、他教科との関連を示したりしています。主な特徴について、2年生の教科書で説明させていただきます。7～9ページをご覧ください。巻頭の「数学の世界へようこそ」で自分の考えを持ち、仲間と考えを伝え合い、わかりやすく説明し、振り返る流れが示されています。数学的な見方・考え方を働かせるとよい場面や方法が示され生徒が考えやすい工夫がされています。また、11ページには、ノートづくりの例が示され、学習内容のまとめ方の例だけでなく、振り返りの例も示されるなど、学びの支援が充実しています。18～21ページをご覧ください。生徒が知識及び技能を習得できるようにするために、「活動」→

「例・例題」→「たしかめ」→「Q」→「プラス・ワン」と取り組み、基礎的・基本的な知識や技能の定着と生徒の個々の習熟度の差に応じた問題が用意されています。また、各節の「たしかめよう」、各章の「ふり返ろう」「力をのばそう」、巻末の「補充問題」「総合問題」と習熟度別にも対応できる十分な問題が用意されています。176～177ページをご覧ください。「データの活用」の領域では、統計的探究プロセス「PPDACサイクル」に沿って学習を進められるように、工夫されています。自ら調べたいことを見出して、計画を立て、適切なデータを集め分析し、結果をまとめるような課題を設定しています。

○次に、学校図書についてです。全体的な特徴は、学校図書の教科書は、数学と実生活、中学校と高校、1年生と2年生の「つながり」を意識した教科書になっています。そのため実生活からの疑問を、数学的な問題にして、数学的な見方・考え方を通して解決し、そして、新しい疑問を発見するという流れが実感できる構成になっています。また、問題解決までの手立てや方針、視点が細かく記述されているため、生徒が家庭学習でも使いやすい教科書となっています。主な特徴について、2年生の教科書で説明させていただきます。10～11ページをご覧ください。各章のはじめには、既習事項との差異や共通点を見出す「ふりかえり」が設けられ、学習のつながりが意識されています。また、39ページのように、「深めよう」を設け、既習事項から予想し新しい学びへつなげ、理解の定着を図りながら学習を発展させるように工夫されています。64～66ページをご覧ください。知識及び技能を習得できるようになるために、「章のまとめの問題」では、基本、応用、活用の3つに分類されており、習熟度に応じた確認ができるように工夫されています。また、ノートの使い方を各学年の巻頭で紹介し、基礎・基本の定着を図ることのできるノートづくりを推進しています。教科書の最後のページをご覧ください。巻末の折込には、ホワイトボードマーカーで書いたり消したりできる「アイデアボード」を添付しており、個人で考察する際やグループで考えを出し合う際に役立てることができるようになっています。また、218ページなどにあるように、QRコードを活用した解説や動画・アニメーション等のコンテンツが用意され、授業や家庭学習の補助的な教材が充実しています。

○次に、教育出版についてです。全体的な特徴は、教育出版の教科書は、身近な題材を取り上げた導入課題を設定し、そこで発生した「問い」をもとに、生徒が主体的に問題解決を進めることができるようにプロセスが示されています。「学びのマップ」でいつでも既習事項をふりかえることができるように工夫されています。また、教科書全体の内容は基礎的な内容が中心であり、解説が1つ1つ丁寧にかかれており、生徒目線の内容となっています。主な特徴について、2年生の教科書で説明させていただきます。13～15ページをご覧ください。すべて章のはじめには、数学が日常生活や実社会に利用されている事例を取り上げ、数学を学ぶ必要性や大切さを生徒が実感できるような題材で始まるように構成されています。また36ページにあるような「数学の広場」を掲載し、数学の世界をさらに広げたり深めたりすることができるように工夫されています。54～55ページをご覧ください。基礎・基本の習得が生徒にとって無理なく進められるように、例・例題と問の間に「たしかめ」が設けられています。「たしかめ」では、例・例題に書かれていることを他の問題で行うことによって、学力に不安のある生徒も確実に理解できるように工夫されています。また、巻末に、本文のたしかめや問に対応した問題を多数掲載しており、繰り返し練習することで、基礎・基本を定着させることができるように工夫されています。58～59ページをご覧ください。問題解決のプロセス（進め方）を示したページがあり、数学的な考え方、活用・意味づけ、統合・発展・体系化などの一連の過程を体験することができるような構成になっています。そうすることで、未知の問題を解決する力が徐々に育つように工夫されています。また、折込を開くと、どのページでも数学的な見方・考え方の一覧を見ることができるように工夫されています。

○次に、啓林館についてです。啓林館の教科書は、スモールステップでの丁寧な内容となっていて、生徒が自分で学習することができる内容となっています。また、授業での学びあいと家庭学習をつなげる内容が用意されていて、習熟度の高い生徒が自ら学びを深めることもできるように工夫されています。さらに、身近なこととのつながりを意識した問題が多く、生徒が主体的に学び、仲間と対話し、学びを深める工夫がなされています。主な特徴について、2年生の教科書で説明させていただきます。16～19ページをご覧ください。「例・例題」→「問」→「練習問題」と細かく丁寧に書かれていて、授業の展開と生徒の学習に隔たりが生じないように工夫されています。また、30～33ページのような「章末問題」、「学びを身につけよう」と多数の練習問題が設けられ、反復練習でき、知識・技能の習得を補助しています。74～77ページをご覧ください。思考の助けになるようページの下部に虫眼鏡のマークで「逆に考える」「問題の一部を変更する」「系統的に考える」の視点が与えられ、今後の学習や社会生活での課題に対する見方を養えるように工夫されています。また「説明しよう」「話しあおう」「まとめよう」のロゴがちりばめられており、学んだことを表現することで、理解を深めたり、学びを広げたりする活動が補償されています。158～159ページをご覧ください。各章のとびらには身近な課題が起用されていて、生徒が「考えたい」「もっと学びたい」と思えるような資料となっています。また「みんなで学ぼう編」は横開き、「自分から学ぼう編」は縦開きと開き方を変えることで、生徒の興味を引く工夫がなされています。さらに、縦開きにすることで、机の上に教科書とノートを置きやすくなるように工夫されています。

○次に、数研出版についてです。数研出版の教科書は、数学的な見方・考え方を働かせるプロセスを大事にしている、対話的活動から、思考力・判断力・表現力を磨くことができるようになっています。教科書全体が、問題解決型の学習を前提に構成され、実生活への広がりを通して、数学の有用性が実感できるように工夫されています。対話を読み進めながら学習を進められるため、生徒個人の力でも学習内容を十分理解することができるような構成になっています。主な特徴について、2年生の教科書で説明させていただきます。14～23ページをご覧ください。各章のはじめで、その章に必要な既習事項が確認されています。また、教師や生徒の吹き出しを設けることで、対話による「数学的な見方・考え方」が可視化されています。さらに、例題の解答が最後まで丁寧に書かれ、復習しやすくなっていたり、巻末に「チャレンジ編」が用意されていたりと、習熟度別学習にも対応できるような構成になっています。30～34ページをご覧ください。課題を進めていくプロセスが対話の形で示されていて生徒が主体的に考えやすくなっています。多様な意見を紹介するシーンも用意され比較検討することで理解を深めることができるように工夫されています。説明を求める問いかけが多だけでなく、説明を求めている問いにも対話を入れて、数学的言語活動の重要性を意識した構成になっています。41～51ページをご覧ください。教科書に記載されたQRコードやURLを読み取ることで、デジタルコンテンツを活用できるようになっています。基本的な問題に取り組み家庭学習を充実できる「補充コンテンツ」、動画資料や図形の操作を通して、イメージを持ちやすい工夫がされていたり、関数や図形の条件を変えられる「イメージコンテンツ」で考察しやすくなったりしています。

○最後に、日本文教出版についてです。日本文教出版の教科書は、レディネステストから始まり、生徒が取り組みやすい章のとびらがあり、スモールステップで主体的に数学の知識・技能をつけられるようになっています。そして、数学的な見方・考え方を重視した注釈が見られ、リンクページを記載することで生徒がそれぞれの習熟度に合わせて学習を選択することができるように工夫されています。教科書全体の問題としては、基礎重視で一時間の構成が見やすくなっており、教師が授業づくりを行いやすくなっています。主な特徴について、2年生の教科書で説明させていただきます。

9～16ページをご覧ください。各章の「次の章を学ぶ前に」が用意され、次の章を学ぶために必要な知識及び技能を復習できるようになっています。既習事項を復習したり学び直したりする機会を設けることで、つまづきを未然に防ぎ、これまでに学んだことを次の学習に生かせるよう工夫されています。また、リンクページの記載があり、自身のレベルに合わせて学習を選択することができるように工夫されています。184～185ページをご覧ください。身近な事柄から数学の問題を見出したり、観察や操作、実験などの活動を通したりして、実感を伴った学習に取り組めるようになっています。また、「学び合おう」には、切り離して使える「対話シート」が247ページのように、巻末に用意され、自分の考えを整理したり、互いの考えを伝え合ったりすることで思考力や表現力を高めるように工夫されています。また、このシートはノートよりも小さくなっているため、そのまま貼り付けて使えるようになっています。191～195ページをご覧ください。巻末には、生徒が直面する安全、防災、ESD、SDGsなどの現代的諸課題について数学で養った力をつかって取り組める資料が掲載され、学んだことを生かそうとする意欲が育まれることが期待されています。また、他教科と関連する資料も随所にちりばめられ、横断的な学びができるように工夫されています。これで、数学科の調査研究報告を終わりにいたします。ありがとうございました。

議長 ありがとうございます。事務局より補足等ありますか？

事務局 学校調査結果について、目録順に読み上げます。東京書籍10票、大日本1票、学校図書2票、教育出版0票、啓林館、13票、数研出版3票、日本文教1票、以上でございます。

議長 委員のみなさん、ただいまの調査員長による説明・報告に対して、質問はありますか。

委員 第18採択地区内の子供たちにとって、よりふさわしいと思われる発行者を2～3者あげるとするならば、どの発行者でしょう。

調査員長 数学の調査員で教科書の調査研究を行う中で、この地域の子供たちにとって、よりふさわしいと思われる発行者は、「啓林館」と「大日本図書」と考えました。「啓林館」の主な理由は、毎日の授業で学習する生徒や指導する教員にとって、細部まで配慮され使いやすくなっているからです。主な例を四つ説明いたします。一つは、すべての時間に「めあて」が例示されているとともに、それに対応した「まとめ」が示されているため、学習を進めやすくなっていることです。二つ目は、新学習指導要領で示されている「数学的な見方・考え方」についてです。各ページの下部に虫眼鏡のマークで「逆に考える」「問題の一部を変更する」など、数学的な見方・考え方の視点が示されていて、生徒が数学的な見方・考え方を働かせ、授業に取り組みやすくなるように工夫されています。三つ目は、思考を表現する場として、授業の中での学び合いや日々のノートづくりを重視していることです。「みんなで学ぼう編」の巻頭には、「話すとき」「聞くとき」の方法が示され、どのように学び合うかをわかりやすく示しています。また、ノートの取り方など、数学の学び方が示されています。四つ目は、「データ活用」の領域において、統計的に問題を解決する際のPPDACサイクルに沿って学習を進められるように、工夫されています。実生活の場面を想定し、疑問がサイクルしていく様子もわかるように「疑問1、2」と表されています。また、様々なデータを多面的に吟味し、批判的に考察する力を身につけることも意識した内容構成になっています。「大日本図書」の主な理由は、啓林館と同様に毎日の授業で学習する生徒や指導する教員にとって、配慮され使いやすくなっているからです。主な例を四つ説

明いたします。一つは、毎時間の授業に対して「めあて」とそれに伴う「活動」「例」「例題」が示されており、学習が進めやすくなっています。二つ目は、新学習指導要領で示されている「数学的な見方・考え方」についてです。各章の中に、問題発見・問題解決の流れが示されていて、自分の考えをもち、仲間と考えを伝えあい、わかりやすく説明するなど、数学的な見方・考え方をどのように働かせばよいかを段階的に示し、生徒が考えやすいように工夫されています。三つ目は、全章に「導入の活動」が設置され、数学の有用性に生徒自身が気づくことができるようにしています。また、「学びにプラス」で、これまでの学習を広げたり、活用したりすることを通して、学びの関連性がわかるように工夫されています。四つ目は、「データ活用」の領域において、統計的探究プロセス「PPDAC サイクル」に沿って学習を進められるように、工夫されています。自ら調べたいことを見出して、計画を立て、適切なデータを集め分析し、結果をまとめるような課題が設定されています。生徒の対話を通して学習が展開されるように工夫されています。

議長 ほか質問はございますか。

議長 それでは、これまでを踏まえて協議に入ります。御意見等お願いします。

委員 調査委員長さんの説明で、スモールステップでの丁寧な学びへの細部までの配慮、同質項のレベルにあった配慮、そして、協働的な学びへの誘いへの観点が今使っている啓林館において魅力的に感じました。

委員 調査委員長さんのお話をお伺いして、細部まで配慮して、すべてにめあて・まとめが用意されていて、学び合いも手作りで、授業が有効に進められるのではないかという考えを持ちました。

議長 ありがとうございます。ここで、協議を打ち切ります。調査員長は退室してください。委員の皆様は、メモ用紙にご記入ください。

議長 それでは、次に、理科の報告をお願いします。

議長 御多用の中での調査ありがとうございます。では、報告してください。

調査員長 これから、中学校理科の報告をいたします。よろしく願いいたします。
中学校理科部会では、「教育出版」、「東京書籍」、「大日本図書」、「啓林館」、「学校図書」の5者の教科書について、調査研究を行いました。中学1～3年生の3学年分5者の計15冊の教科書について検討しましたが、本日は2年生の教科書を参考事例として活用しながら報告させていただきます。それでは、それぞれの教科書について、「内容」、「資料」、「表記・表現」、「総括」という順で報告いたします。○まず始めに、第18採択地区で今現在使われております「東京書籍」についてです。「内容」は、各節が、問題発見、構想、課題、実験、分析解釈、結論、活用、振り返りという流れになっており、探究の過程を経て学習を積み重ねていく工夫がなされています。(P.16 第1節 ホットケーキの秘密)。また、探究の過程における学習の流れを偶数ページの下に必ずフローチャートで示してあり、「今、何を学習しているか。」をわかりやすくする工夫がなされています。また、課題に対する結論を自分の言葉で書く場面(p.19 下段)を設けており、思考力や表現力を育成しようと図られています。「資料」は、デジタルコンテンツが有効な場所には、「Dマーク」が示され(P.7 QRコード)、教科書内の図版に加え、映像資料やシミュレーションなども収録され、定

着度が低い内容においても家庭学習の助けとなります。また、各学年の巻末には、自分で組み立てるペーパークラフトがついており、空間認知能力を育てる工夫がされています。「表記・表現」は、本文にユニバーサルフォントを使用し、重要語句や式は太字のゴシック体を使用しています（P.20）。中1ギャップに対応できるように、1年生の文字サイズは大きくなっています。また、本文中の躓きやすい既習事項について矢印で案内し欄外に補足説明を設けており、復習時に活用しやすい構成になっています（P.20）。「総括」としては、本地区の現1，2年生は、東京書籍を使用して学習しており、構成や図版が大きく変わっていない同社教科書を使用していくことは、大きなストレスを感じず学習に取り組むことができます。また、巻頭で理科と日常生活との関連や探究の流れ、教科書の使い方について示しており、各単元の内容の関連性も教材の入手時期を考慮して配置されています。

○続きまして、2者目の「啓林館」について報告いたします。「内容」は、章の導入に、「つながる学び」を設け、既習内容が確認できるよう工夫されています。また、QRコードにより既習内容を確認できるよう工夫されています。各単元に1つ「探Q実験」を設定し、探究の過程に主体的に取り組めるよう工夫しています。その際、巻末の切り取りシート「探Qシート」により、生徒の活動をサポートできるよう工夫されています。単元末には『みんなで探Qクラブ』が設定されており（P.66 生パイナップルを使ったゼリーが固まらないのはなぜ？）、授業で得た知識をもとに探究活動が実践できるよう工夫されています。また、単元末の「学習のまとめ」において、新出用語の新出ページが明記してあり、整理しやすくなっています（P.60～61）。「資料」は、QRコードが豊富に用意してあり、デジタルコンテンツを見て授業内容を深めることもでき、家庭学習するときにも確認で見ることができます。理科の有用性を感じるコラムも多く掲載されています。『もくじ』や『さくいん』が整理され、情報が探しやすくなっています。「表記・表現」は、目次重要語句の記載については、本文の中でも非常に目立つフォントを使用しており、非常にわかりやすくなっています。生徒の写真やイラストは、男女の役割は固定せずに、互いに協力しながら活動できるように配慮されています。「総括」としては、ページ数のボリュームも多い上に、QRコードによる様々なコンテンツが利用できるため、多様な学習が可能となっています。図・資料・文のレイアウトがとて見やすく、ストレスなく目を運ぶことができます。コラムが多く、内容に関する興味関心を喚起する工夫がなされています。

○続きまして、3者目の「教育出版」について報告いたします。「内容」は、巻頭に「探究の進め方」が折り込みとして閉じられており、探究の流れを確かめながら学習に取り組めるよう工夫されています。各章の最初等に既習事項が示されるとともに、各節に「課題」と「結論」が明記されています。また、単元のまとめには重要語句や基本事項が確認できるよう「要点と重要語句の整理」や「基本問題」が設けられています。さらに巻末資料には実験器具等の基礎操作を「基礎技能」としてイラストで分かりやすくまとめてあり、知識及び技能が習得できるようにするための工夫がなされています。巻末には、学習に活用できるカードやペーパークラフト（巻末）が付録され、理科への取りかかりとして、生徒の興味を喚起するために工夫されています。「資料」は、5者の中で最もページ数が多い分、ゆとりをもったレイアウトで本文や図、イラストが掲載され、わかりやすく構成されています。また、教科書の内容と関連のあるコンテンツを集めたウェブサイトである「学びリンク（P.②、P.22等の該当ページに『学びリンクマーク』）」があり、QRコードから活用することができます。「表記・表現」は、本文にユニバーサルフォントを使用し、重要語句や式は太字のゴシック体で表されています。特に、重要語句には明るい橙色が用いられ、視覚的にもわかりやすく示されています。「総括」としては、単元配列は、各学校の実態に応じて指導できるよう、基本を押さえつつゆとりのある内容に構成されています。それに加えて、発展的な内容についても触れられています。単元末や巻末には「要点と重要語句

の整理」や「基本問題」、「学年末総合問題」や「基礎技能」などがまとめられ、基本的な知識・技能が定着できるよう配慮されています。

○続きまして4者目の「学校図書」について報告します。「内容」は、各授業における「この時間の課題」とその解決に迫るための科学的な「見方」「考え方」について具体的な記載があり、思考を深める一助となっています。観察・実験の場面において、できるようになりたい目標を示した『Can-Do-List』を掲載（2年P18）し、目的意識をもち観察・実験に取り組むことができるように配慮されています。観察・実験では、大きな写真を用いて、詳細で丁寧な説明がされています。QRコードを読み込むことで、基本問題だけでなく、実験器具の基本操作動画、アニメーションなどのデジタルコンテンツを利用することができ、家庭学習に有用と考えられます。「資料」では、例えば「化学変化と原子分子」の初めのページに「極小の世界にズームイン」というフレーズと走査型トンネル顕微鏡の写真に掲載するなど、単元の始めに、魅力的なフレーズと写真を載せ、学習意欲を喚起するための工夫がなされています。図版を大きめにレイアウトし、視覚的な情報が得やすくなっています。「表記・表現」として、サイズが大きめのUDフォントを使用し、紙面デザインをシンプルにすることで、紙面からの圧迫感を少なくしています。「総括」として、軽量化のために内容が厳選されている一方で、記載の観察実験数は多くなっています。コラム等の記載も少なく、それらはQRコードにより、コンテンツから参照できるようになっています。また、巻末にアイデアボードが付録されており、意見交換をさせるためのツールとして繰り返し利用できます。

○続きまして5者目の「大日本図書」について報告します。「内容」は、単元末の「課題を見つけて解決しよう」や「自由研究にチャレンジしよう！」を通し、探究活動へ誘うよう工夫されています。各単元末に「まとめ」「単元末問題」「読解問題」が掲載され（2年P74～78）、特に3年生の教科書の巻末では1～3年の基礎的な内容を確認できる「学習のまとめ」が掲載され、高校入試への対応が意識されています。「基本操作」については、巻末にまとめられており、復習しやすい構成になっています。

「資料」は、学習内容に関連する多様なコラムを多数掲載し（2年P215）、科学を学ぶ意義や有用性を伝え、学習意欲を高められるよう工夫されています。「表記・表現」は、UDフォントを使用し、全領域を通して統一した色使いとなるよう配慮されています。1年生の本文や囲み資料は2・3年生よりも大きくしたり、発展的な内容を精選して最小限にとどめたりするなど、発達の段階に考慮しています。「総括」としては、巻頭で学習の進め方や教科書の使い方などを示していることで、学習の流れを理解し見通しをもって探究し、主体的・対話的な学習ができます。単元末には探究活動があり（2年P72）、単元を通して1つの課題に取り組むことができます。

議長	ありがとうございました。事務局より補足等ありますか。
事務局	学校調査結果について、目録順に読み上げます。東京書籍13票、大日本3票、学校図書2票、教育出版6票、啓林館5票、以上でございます。
議長	委員のみなさん、ただいまの調査員長による説明・報告に対して、質問はありますか。
委員	第18採択地区内の子供たちにとって、よりふさわしいと思われる発行者を2～3者あげるとするならば、どの発行者でしょう。また、生徒が使用する際のサイズについても話し合われていれば教えてください。
調査員長	理科調査委員会では、「東京書籍」「啓林館」「教育出版」がよりふさわしいと考えました。「東京書籍」は、探究的な展開が基本となった学習内容で構成されているた

め、各節で探究の過程に沿って学習を進めることができます。その際、ページ下部にはフローチャートが示され、教師、生徒共に見通しをもって取り組むことができます。単元末の問題では、活用型の問題が現行のものから分量が5割増加し、全国学力学習状況調査やPISA型の問題にも対応しており、思考力や表現力が身に付くように工夫されています。また、現在、第18採択地区で使われており、子供たちや教師が慣れ親しんでおります。「啓林館」は、デジタルコンテンツが非常に豊富で、教科書の随所に用意されたQRコードから、映像や音声、画像などにリンクしているため、家庭学習においても主体的に学習を進めることができます。また、目次が細分化されており、めあてのページをピンポイントですぐに見つけることができるので、学習効率が高まります。実社会や実生活と理科とのつながりが「科学コラム」で紹介され、学習の有用性と科学の魅力を伝える工夫もなされています。「教育出版」は、総ページ数が多い分、本文と図版や写真がゆとりをもって配置されています。思考の流れを止めることのないレイアウトになっており、学習展開が目に見える体裁に工夫されています。重要語句は、色付き太字ゴシック体で表記されており、視覚的にも捉えやすいため、特別支援の点においても配慮がなされています。今回横長、縦長なもの、様々なサイズがございます。それぞれ感じ方によるものですので議論は致しませんでした。

議長 ほかに質問はございますか。

議長 それでは、これまでを踏まえて協議に入ります。御意見等お願いします。

委員 理科は、探究的な学習につながるような学習内容で構成されている教科書が、ふさわしいと考えます。このような観点で調査員長の説明をふり返ると、どうでしょう。

委員 3つ挙げられた発行者それぞれがうまくまとまっています。探究的な学びという観点からすると、今使っている東京書籍も良いという考えもありますが、いかがでしょうか。

委員 おっしゃる通りですが、生徒がこれを使った場合、今の東京書籍の長さを比べた時に、ほかの教科書とこれだけが違った長さで、大変使いにくいかなあというのもございますし、教科書を開いたときに、幅が短い分押さえ込むような使い方をしなければならないと考えます。今まで東京書籍を使用していて素晴らしい点は分かりますが、このような面から考えると、教育出版の方が量が多いし、「ハローサイエンス」の内容が詳しく書かれています。また、それぞれの教科書には顕微鏡写真がありますが、被写体に合ったスケールなのか考えたときに、教育出版はその知らせたい場所に上手に入ってくる写真が多く掲載されています。そのように全体を考えていくと、私も東京書籍を使っていて、その使い勝手のよさもわかるのですが、教育出版の方がよりふさわしいのではないかと考えます。また、その他に融点を比べる実験があるのですが、教育出版だけはパルメチル酸やセタノールという他の教科書会社では使っていないものを掲載しています。これらの物質は日常生活でも使われている物質なので、このような物質を掲載していくこともこれからは大事なのではないかと思います。

議長 ありがとうございます。ここで、協議を打ち切ります。調査員長は退室してください。委員の皆様は、メモ用紙にご記入ください。

議長 それでは、次に、音楽「一般」と音楽「器楽合奏」の報告をお願いします。

議長 御多用の中での調査ありがとうございます。では、報告してください。

これから、音楽科の調査結果の報告をいたします。よろしくお願いいたします。【教育出版社】、【教育芸術社】2社の発行者全ての教科書につきましてご報告いたします。2社に共通して言えることは、新学習指導要領の趣旨を捉え、「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指し、学びのポイントを示したり、音楽の特徴や気づきを記入する欄の工夫や、仲間との交流を通して学習を深めたりするための工夫がされています。また、教科書に示されている二次元バーコードにアクセスし、教科書の内容にリンクした動画や音声などを視聴、閲覧ができるようになっており、「音」を扱う教科ならではの学びを支える工夫がされています。それでは各者の具体的な調査報告に移ります。発行者番号の順でご報告いたします。具体的な部分をお示しする際に教科書を使用したいと思しますので、各発行者の「2・3年生下の音楽」・「器楽」の教科書をお手元にご用意いただければ幸いです。よろしくお願いいたします。

○初めに教育出版社です「音楽のおくり物 中学音楽2・3年下」のP4・5をご覧ください。各教材の学習目標や具体的な活動が「学びのユニット」として示されています。これにより、生徒が見通しをもって主体的に学ぶことができ、学びを深めるための発展的な学習も可能となっています。また、各領域の「学びのユニット」を地域や学校、生徒の実態に応じて構成できるよう配慮されており、学習指導要領の内容を適切に取り扱えるよう工夫されています。続いてP12・13をご覧ください。各教材での学びを定着させるため、学習目標、学習活動、新しく学習する用語等が見開きで掲載されており、1時間ごと、単元ごとに学ばせる内容が明確になっています。また、「比べてみよう」「深めてみよう」では、生徒の実態に合わせ、より確かな学びや、発展的な学習へつなげることができる構成となっております。P9・10をご覧ください。「ACTIVE!」では、音楽の構造を理解し、気づいたことを書き込む欄や、その考えを基に「話し合おう」での協働的な活動により、さらに思考を深める工夫がされ、主体的・対話的で深い学びの実現に向かう工夫がされています。鑑賞教材についても同様に、聴き取ったり感じ取ったりしたことを記入し、対話的な活動につなげることができ、「比べてみよう」では比較鑑賞することで確かな学びが期待できるよう工夫されています。また、音楽文化と豊かに関わるために、P38～「歌舞伎」の鑑賞とP44長唄の表現活動を関連付け、P50のように音楽の共通性と固有性を比べながら、音楽の多様性に気付かせる工夫がされています。さらに、発達段階に応じてアジアから諸外国の音楽文化へと発展させ、理解を深めています。音楽活動の基礎的な能力を伸ばすため、各領域に関わる単元をまとめて配列し、段階を経ながら、学び合い活動が展開できるよう工夫されています。特に、P22 創作教材では、活動内容と具体の活動がわかりやすく示され、手順を追っていくことで、系統性や発展性を踏まえた、体験的な学習活動が展開できる内容となっています。

○【教育出版社：中学器楽】「音楽のおくりもの 中学器楽」です。目次をご覧ください。扱う楽器の配置が、リコーダー・篠笛・尺八の吹く楽器、ギター・箏・三味線の弾く（弦楽器）楽器、太鼓・打楽器と楽器の構造になっており、楽器の演奏技術を習得するだけでなく、我が国や諸外国の文化の理解を意図した教材配列の工夫がされています。P26・52では、器楽と鑑賞との関連を図り、「何が同じで何が違う？」で楽器の共通性と固有性を考えさせ、気づきを基に話し合う活動につなげる書き込みの欄が設けられています。こうした学習活動により、生徒の思考力、判断力、表現力を促し、深い学びへとつなげる工夫がされています。総括として、表現と鑑賞のバランスのよい学習をめざし、学習内容の関連が図られ、主体的・協働的な学びに向けた発展教材も明記されており、学校の実態に即した指導ができるよう工夫されています。巻末の折り込み資料では、多様な情報を見渡せ、学ぶ楽しさを広げています。

○【教育芸術社：中学生の音楽】教育芸術社の教科書についてです。現行の教科書については教育芸術社のものが第18採択地区で使用されています。最初に「中学生の

音楽 2・3 年下」 P 8・9 をご覧ください。年間の学びを見渡せる「学びの地図」により、それぞれの教材を通して、何を学び、どのような音楽の力を身につけられるのかが見て取れ、生徒自身が見通しを持ち、主体的に学ぶことができる工夫がされています。P 1 2 をご覧ください。

生徒が意欲をもって主体的に学習が進められるよう、各教材での「何を学ぶか」という学習目標を明示し、具体的な学習活動、音楽的な見方・考え方を働かせるための視点となる「音楽を形づくっている要素」が一目でわかるよう示されています。各教材では、「思考、判断、表現」を深めるためのヒントを吹き出しで示し、思考した内容を記述する場面が設定されています。また、生徒が意見を交流し、学びを深めることができるよう工夫され、主体的・対話的で深い学びの実現のための紙面構成となっております。P 4 2～我が国の音楽文化を尊重する態度を育むため、幅広い分野から教材を取り上げ、音楽のみならず文化的な側面からも捉えられるよう工夫されています。また、実際に音楽の一部を体験する内容や、P 5 4・5 6 のように同世代の取組を知り、生徒が興味・関心をもち学習に取り組めるよう設定されています。P 6 8 「生活や社会の中の音楽」では、学年に応じたテーマを設け、音や音楽が生活や社会、文化とどのように関わり、どのような意味や価値があるかについて、生徒が意識的に考えるページが新設されています。学習で得た音楽経験や知識を生活に生かし、音楽と豊かに関わっていくための資質・能力の育成への工夫がなされています。〔教育芸術社：中学生器楽〕各楽器とも、平易な練習曲から学習を進め、豊富なアンサンブル曲により学習した内容を生かしながら表現を深め、アンサンブルの楽しさを味わう配列の工夫がされています。また、歌唱、創作、鑑賞の各学習活動との関連も配慮されています。P 1 3 のように、「深めよう音楽」では、表現活動を通して、思考力・判断力を育む場面が設定されています。P 4 の「音楽ってなんだろう？」では、音楽の本質を考えさせる内容や、P 7 5 のバンドのスコア、P 1 0 2 のギターのコードフォームやキーボードに対応したコード表を資料として掲載することで、卒業後の音楽活動を意識し、器楽学習を通して音楽と豊かに関わっていくことを重要視しています。総括として、「つながる」をキーワードとし、音楽活動を通して生徒同士、生徒と社会等、様々な学びをつなげ、自ら考える力を引き出す工夫がされています。また、多彩なジャンルを取り上げ、卒業後も生徒が音楽と豊かに関わるための内容が重視され、伝統音楽の記述の充実や和楽器の奏法の写真の見やすさにより、様々な音楽を身近に感じる工夫がされています。

以上、2 つの発行者すべての教科書につきまして、音楽科の報告を終わりにいたします。ありがとうございました。

- 議長 ありがとうございます。事務局より補足等ありますか。
- 事務局 学校調査結果について、目録順に読み上げます。音楽一般「教育出版 9 票、教育芸術 1 3 票」、音楽器楽合奏「教育出版 9 票、教育芸術 1 3 票」以上でございます。
- 議長 委員のみなさん、ただいまの調査員長による説明・報告に対して、質問はありますか。
- 委員 音楽「一般」と音楽「器楽合奏」では、今、使用しているのは教育芸術社で、子供たちは使い慣れています。今回改定された教科書は、今までのものと比べてでしょうか。
- 調査員長 教育芸術社の使い勝手のよさを 2 点申し上げます。1 点目は、生徒の実態に即しているという点です。選曲のねらいが明確で、発達段階に応じて生徒が意欲的に取り組める楽曲が掲載されています。歌唱教材では、歌詞や楽曲内容が生徒の心情的な発達に沿っており、音楽の要素との関連を図りながら表現を工夫する活動へとつなげやすい

教材が選択されています。鑑賞教材についても、学年の進行に合わせて系統的に配置され、小学校からの9年間の学びのつながりが考慮されています。器楽でも生徒にとって魅力的な曲が豊富に掲載され、生徒が主体的に取り組める選曲となっています。2点目は、音楽科において育成を目指す「生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力」の育成を意識しているという点です。音楽の授業で学んでいること、学んだことの意味や価値などを生徒自身に意識的に考えさせるページが新設されています。例えば、伝統音楽のみならず、世界とのつながりに触れ、SDGsの視点での学習を進めたり（P68）、震災の復興を願って歌い継がれる楽曲に掲載したりして（P70）、人々の思いをつないだり誰かを勇気づけたりする力を、音楽活動を通して実感できるようになっている点が、新学習指導要領の改訂の趣旨に沿った内容であり、使い勝手のよい、ひいては生徒の学びの深まりへとつながると考えます。

議長

ほかに質問はございますか。

議長

それでは、これまでを踏まえて協議に入ります。御意見等お願いします。

議長

ありがとうございました。ここで、協議を打ち切ります。調査員長は退室してください。委員の皆様は、メモ用紙にご記入ください。

議長

それでは、投票を行います。事務局は準備願います。

事務局

開票致します。

数学	啓林館	理科	東京書籍	音楽一般	教育芸術	音楽器楽	教育芸術
数学	啓林館	理科	教育出版	音楽一般	教育芸術	音楽器楽	教育芸術
数学	啓林館	理科	東京書籍	音楽一般	教育芸術	音楽器楽	教育芸術
数学	啓林館	理科	教育出版	音楽一般	教育芸術	音楽器楽	教育芸術
数学	啓林館	理科	教育出版	音楽一般	教育芸術	音楽器楽	教育芸術
数学	啓林館	理科	教育出版	音楽一般	教育芸術	音楽器楽	教育芸術

以上でございます。

議長

それでは、開票結果について、事務局から報告願います。

事務局

数学、理科、音楽一般、音楽器楽合奏の開票結果をご報告いたします。
数学、（東京書籍）（0）票、（大日本）（0）票、（学校図書）（0）票、（教育出版）（0）票、（啓林館）（6）票、（数研出版）（0）票、（日本文教）（0）票。
理科、（東京書籍）（2）票、（大日本）（0）票、（学校図書）（0）票、（教育出版）（4）票、（啓林館）（0）票。
音楽一般、（教育出版）（0）票、（教育芸術）（6）票。
音楽器楽合奏、（教育出版）（0）票、（教育芸術）（6）票。
以上でございます。

議長

確認いたします。
数学は、啓林館が過半数を得ましたので、啓林館を選定いたします。
理科は、教育出版が過半数を得ましたので、教育出版を選定いたします。
音楽一般は、教育芸術が過半数を得ましたので、教育芸術を選定いたします。
音楽器楽合奏は、教育芸術が過半数を得ましたので、教育芸術を選定いたします。

議長

ここで休憩をとります。再開時刻を13:40とします。

議 長	それでは再開いたします。美術の報告をお願いします。
議 長	御多用の中での調査ありがとうございました。では、報告してください。
調査員長	<p>これから、美術科の調査結果の報告をいたします。よろしくお願いいたします。開隆堂、光村図書、日本文教出版（日文）の発行者全ての教科書につきまして、ご報告いたします。</p> <p>○はじめに、開隆堂出版についてご報告します。【開隆堂出版について】開隆堂は3年間で2冊の教科書を使用する形をとっています。1年生の使用する「美術1」では、小学校図画工作との接続を大切にしながら、表現や鑑賞の意欲を高める「わくわく感」のある題材を揃えています。2・3年生が使用する「美術2・3」では、知的好奇心を刺激したり、将来、美術で学んだことが生活にどう活かされるのか、美術の力が社会でどのように役立っているのかを示す題材が取り上げられるなど、発達段階をふまえた適切な内容を揃えていると考えます。また、それぞれの題材で「何を学ぶのか」が明確になるようにレイアウトが工夫されており、教科書全体がわかりやすく整理されていることも特徴です。加えて、美術ならではの用語解説や、国宝、重文のマーク、作者の言葉、学習の目標、ポイントなどが、学習の流れや思考を妨げない「さりげない表記、色」で行われています。ページ下部には、他教科との関連や既習内容についても適切に示され、表現に役立つ資料「学びの資料」も、見やすい形に整理されて巻末に用意されています。内容で目をひいたのは、【美1, P34】です。デザイナー（佐藤オオキさん）へのインタビューを通して、発想のポイントや考え方を示すなど、思考、判断、表現のプロセスをわかりやすく紹介しています。また、【美2・3, P14】自画像の題材では、作品とそれを描いた作者の白黒写真を並べて表示するなど、これまでにない扱い方をしています。いずれも、生徒が表現する上で参考になると考えます。【総評】全体的にすっきりとしたレイアウトで、全ての資料に図番号を記載したり、ルビをふったりするなど、多様な個性をもつ生徒への配慮が感じられる教科書です。取り上げられた参考作品の数は少ないですが、背景の色を含め、見やすい形になっています。生徒の作品も大切に扱われている印象があります。結果として、教師が教えやすく、生徒が使いやすい教科書に仕上がっている教科書であると考えます。</p> <p>○次に、光村図書についてご報告します。【光村図書について】光村図書も3年間で2冊の教科書を使用します。1年生の教科書「美術1」では、キャラクターを効果的に用いて、小学校図画工作から美術への接続を楽しみながらできるように工夫されています。2・3年生の教科書「美術2・3」では、他社と比較すると、20ページ程少ないのですが、1つ1つの題材を、鑑賞と組み合わせながら、深く学ぶ内容となっています。他社には見られない作りですが、少ない授業時間をどう活かすかということについて、実際の授業づくりの流れを考えた構成であると感じました。この考え方は紙面にも表れており、2冊とも、「目標」「鑑賞」「表現」という構成となっています。見開きであれば、左に「鑑賞」のページ、右に「表現」のページというレイアウトになっており、生徒が授業の流れを理解したり、制作の見通しを立てたりしやすいと考えます。題材の説明でも、「語りかけの口調＝味わおう、話し合おう」で表現するなど、学習に向かう姿勢が作りやすい教科書であると思いました。巻末には、他社同様、材料や用具の使用例を示した「学習を支える資料」のページがありますが、単なる技法紹介の数は少なめになっています。これは、QRコードを用いたコンテンツとの併用が考えられているためで、技法を紹介した動画は3社中最も充実しており、これからの時代の教科書の方向性を感じさせる内容となっています。特筆すべき内容・題材ですが、【美1, P24】生徒の作品を取り上げる例はこれまでにありませんが、その制作過程を丁寧に紹介していることが目をひきます。生徒は、できあがった</p>

作品よりも、このような制作過程が表現の参考になると思います。【美2・3, P24】「北斎とゴッホ」、「絵巻物と漫画」を併せて示すなど、など、対比しながら鑑賞することでより深く思考させる題材が設定されています。次のページには、それに関連する内容もまとめられ、授業でも扱いやすい構成になっています。【美2・3, P13】ではトレーシングペーパーを用いたり、版画や絵巻物の鑑賞では、紙の材質を変えたりするなど、鑑賞について多様で興味深い内容となっています。【総評】全体的に参考作品や資料等がよく整理されており、明確なレイアウトとあいまって、見やすく、授業の流れがつかみやすい教科書となっています。題材の配列も、時代や地域、テーマごとに関連させながら学習できるように工夫されていますし、関連資料の取り上げ方も適切だと感じました。オリンピック・パラリンピックのマークや津波などの災害から命を守るデザインを取り上げるなど、社会の中で「美術」が果たす役割や、美術で学んだ力がどう生かされるのかが示されています。美術を身近に感じられるような工夫が随所に感じられ、教員にとっては授業の流れが作りやすく、生徒にとってはわかりやすい教科書であると思います。

○次に、日本文教出版についてご報告します。【日本文教出版について】日本文教出版は、3社中唯一、3年間で3冊の教科書を使用する形となっています。学習指導要領では2・3年の内容を一括して示していますが、新学習指導要領に「発達の特性を考慮して内容や一つの題材にあてる時間を検討すること」が示されていることを受け、3分冊にしており、それぞれの学年ごとのねらいが副題に示されています。また、3分冊にしたことにより、総ページ数は201ページと、3社中、最も多くなっています。その中で、3年分の題材が、発達段階をふまえ、系統的に学習が進められるように工夫されています。これまでにない試みや新しい切口の鑑賞作品も数多く見られます。【美術1, P58】開隆堂と同じように作家（アーティスト）が登場し、発想・構想の手立てを紹介しています。1年生にもわかりやすいページであると感じました。また、1年生の表紙やP29土偶、2・3上見開きのゴッホ作品、P29葛飾北斎作品、2・3下P25の『誕生』などを原寸大で紹介し、作者の息遣いまで伝わってくる紙面を作っています。その他、見開きで展開する『風神雷神図屏風』『燕子花（かきつばた）図』など様々な鑑賞題材の仕組みも用意されており、別途、映像資料を準備する必要がないほど充実した教科書と言えます。さらに、2・3下P32「どこまで修復すべきか」は、これまでにない視点から、文化遺産の継承について取り上げたり、2・3下P46「列車のデザイン」は、地域の伝統工芸が現代の生活にどのように活かされているかを取り上げたりするなど、新しい切口の内容が多く見て取れます。QRコンテンツ（Web資料）も充実しています。解説や参考作品も多数見られるようになっており、立体作品が360度見られる等、内容的にも工夫が見られます。光村図書に並ぶ充実度だといえます。また、材料や用具の取り扱いが、「学びを支える資料」として各巻末にまとめられており、QRコンテンツとの使い分けができる状況になっています。【総評】生徒になじみのある、スタジオジブリの作品やユーミン（松任谷由美）さんを取り上げるなど、生徒の興味や学ぶ意欲を引き出す仕掛けが数多く用意された楽しい教科書だと感じました。レイアウトも従来の形にこだわらず、カラフルで大胆なものとなっています。特筆すべきは、QRコードを利用したWeb資料が充実していることで、これまでにない気付きや学びをひきだすことができる、生徒の学ぶ意欲に応えることができる可能性のある教科書だと思います。

以上、3つの発行者全ての教科書につきまして、美術科の報告を終わりにいたします。ありがとうございました。

議長

ありがとうございました。事務局より補足等ありますか。

事務局

学校調査結果について、目録順に読み上げます。開隆堂9票、光村図書5票、日本文

	教5票、以上でございます。
議長	委員のみなさん、ただいまの調査員長による説明・報告に対して、質問はありますか。
委員	今、使用しているのは開隆堂で、子供たちは使い慣れています。今回改定された教科書は、今までのものと比べてどうでしょうか。
調査員長	今回改定された教科書を見ますと、いずれの会社も新学習指導要領を踏まえた新しい内容等、多様な生徒への学びやすさへの配慮をバランスを取り、両立させていくということで工夫した教科書であったと感じました。特に開隆堂は、新しい学習指導要領の内容を積極的に取り上げながら、多様な生徒がより学びやすいように配慮した、学びやすい教科書となっていると感じました。また光村図書も同じように発達に課題がある生徒はもちろん、全ての生徒にとって学びやすい教科書となるように、題材の配列やレイアウト等細かな配慮がされていると感じております。以上でございます。
議長	ほかに質問はございますか。
議長	それでは、これまでを踏まえて協議に入ります。御意見等お願いします。
委員	子供たちにとって、学習の内容、ねらいがわかりやすく、授業の流れをつかみやすい教科書がふさわしいと思います。このような観点からすると、どうでしょう。
委員	先ほどの調査員長さんの説明ですと、子供たちにとって、学びやすい、使いやすい、また、教師が教えやすい。そのように仕上がっているということが方向性かと思われるます。どうでしょうか。
議長	ありがとうございました。ここで、協議を打ち切ります。調査員長は退室してください。委員の皆様は、メモ用紙にご記入ください。
議長	次に、保健体育の報告をお願いします。
議長	御多用の中での調査ありがとうございました。では、報告してください。
調査員長	これから保健体育の調査結果を報告させていただきます。よろしく願いいたします。保健体育科では、4つの発行者の教科書があります。東京書籍、大日本図書、大修館、学研教育みらいの順で報告いたします。 ○はじめに、東京書籍について、説明いたします。課題解決的に学習を進める中で、基礎的・基本的な学習内容を理解できるよう紙面の構成が工夫されています。P72、73をご覧ください。各項の見開き2ページで、主体的・対話的で深い学びとなるように、1時間の学習の流れが、薄い茶色のラインでしめされています。「見つける」→(課題の解決)→「活用する」→「広げる」の一連の流れで構成されており、生徒が理解しやすいように工夫されています。4つのステップ①「見つける」では課題の発見に向けて思考、判断、表現する活動。②「課題の解決」に向けて主体的に思考・判断するための発問が出され、示された適切な資料のもと、調べ解決し、知識・技能を習得します。③「活用する」では「習得した知識・技能を活用し、より深く思考・判断さらに表現する」という流れで、学習パターンにまとめられています。さらに、④「広げる」では日常生活に生かしていくことを考えるなど実践力の基礎を育てる活動が充実しています。②学習課題を明確にすることで、学びへの意欲を喚起するよう

に工夫しています。P72をご覧ください。各項の1ページ目の冒頭で大きな文字で、短くわかりやすい文を用いて、板書形式で「学習課題」が明示されています。課題を明確にすることで、学習のねらいも捉え易くなっており、学習課題を自分のこととして考えることができ、学びに向かえるように工夫されています。③イラスト・写真・デジタルコンテンツ等の資料が充実しており、健康・安全についての理解を深める工夫がされています。P1の口絵1をご覧ください。P1をご覧ください。学習内容に関連する動画やシミュレーションや具体的に「知識技能」を映像で確認できるデジタルコンテンツが合計50個、自社制作オリジナルで豊富に掲載されています。どれも2,3分とみやすく、生徒の学習を支援し、理解度を高めるよう工夫されています。イラストや写真、資料の大きなレイアウト、配色の見やすさ、学習の思考を助けるキャラクター（クールとコール目次にある）の言葉等が多く取り入れられ、学習内容を理解しやすい工夫がなされています。特に口絵1ではオリンピック、パラリンピックのように、今日的な教育課題への対応を取り上げ、気づきや調べるきっかけができるよう工夫されています。

○次に、大日本図書について、説明いたします。1単位時間を見開き2pを基本とした、わかりやすいページ配分で、課題解決的な学習を進めやすくすることで、基礎的・基本的な学習内容を理解できるよう紙面の構成が工夫されています。P80、81をご覧ください。このように各単元の見開きの左ページには、本文、右ページには、関連資料というわかりやすいレイアウトで構成されています。課題解決学習の道筋が本文と資料でバランスよく簡潔に示されています。教科書全体で、課題解決学習を通して、思考力、判断力、表現力等が育成されるように、自分の課題を持って、主体的に考え、話し合いながら、深く学んでいけるように工夫されています。P43、をご覧ください。P43「話し合ってみよう」が全体を通じて毎時間のように設定され、P47「やってみよう」P99「調べてみよう」とともに、身近な題材や自分の生活について取り上げ、振り返ったり、考えたり、調べたりする実践的な活動を通して、思考を深め、ノートに書き出したりして、学習のねらいにせまることができるように工夫されています。次にP87をご覧ください。

各章末の「学びを活かそう」では、章ごとにさらに学習を深めるために、資料から読み取る、友達と話し合う等、対話を通して思考を広げて深めていく活動等を通じて、特に大きな記入欄をもうけ、思考、判断したことを記述・表現し、章のまとめとして、より深い学びが実現できるように配慮されています。学習内容に関する新しい知識や補足の説明があり、理解を深める工夫がされています。P84、P85、P86をご覧ください。「章末資料」では、今日的健康課題に関して、イラストや写真の資料が充実しており、学習内容に関連する新しい知識や補足の説明があります。また、青い「リンク」マークが多く示してあり、本文に関連付けて学習できる資料を示し、さらに、理解を深めるための工夫がされています。

○次に大修館について、説明いたします。①課題解決的に学習を進める中で、基礎的・基本的な学習内容を理解できるよう紙面の構成が工夫されています。P76の前ページ2年保健の「章のとびら」「生活習慣の健康への影響」をご覧ください。各章のはじめに「章のとびら」を設け、小学校、高校で学習することについて示し、系統性、関連性を持たせる工夫がされており、学習を始める前にその章で学ぶことを見通し、私達の生活とどのように関連しているか確認できる工夫がなされています。続いてP84、P85をご覧ください。全ての単元で、「課題をつかむ（振り返ろう）」→「①②の本文で、身につける・考える」→最後に「学習のまとめ」（まとめる・振り返る）」の学習パターンでまとめられており、基礎的・基本的な内容を習得できる構成となっています。特に「課題をつかむ」で気づきや思考を促すように、効果的な発問の工夫がされており、生徒の関心や意欲を高める工夫がされています。「学習のまとめ」では、思考力・判断力・表現力を育成し、日常生活につなげ調べたり一緒に伝え合う構

成になっています。また「きょうの学習」の欄では、キーワードが明記されており、基礎的・基本的な知識及び技能を身につけられるようになっていてだけでなく、「たばこの煙には何が含まれているでしょうか」は本時のねらいとして大変わかりやすく、そして、本文の小タイトルが「①たばこの煙には有害物質が含まれる」のように、きょうの学習のねらいに対応するように、本文が書かれているため、生徒が学習課題を明確に捉えやすい工夫がされています。②各項の本文に関連した資料が大変充実しており、学んだことを基にして、自分の課題を見つけたり、他の人と一緒に考えを深めたり広げたりする活動ができるように工夫されています。P148、P149をご覧ください。関連した情報が豊富に記載されていることによって、生徒の学習意欲を喚起する資料となっている。グラフや資料の中に「よみ取る」マークがあり、資料を読み取るためのポイントが詳しく解説されており、理解を深められるようになっています。続いてP92、P93をご覧ください。各章末にある「特集資料」が大変充実しており、生徒は学んだ知識を基に、自分の身近な生活や今後の生き方に活かすことができるように工夫されています。これまでの学習を振り返り、実生活に生かしたり、自分の課題を見つけたり健康安全について理解を深める工夫がされています。P94、P95をご覧ください。「章のまとめ」には「知識・技能」「思考・判断・表現力」の観点別の確認問題が用意されており、さらに「学びに向かって」では、さらに学んだことを基にして、自分の課題を見つけたり、考えを深めたりする活動を通して、生涯にわたっての、実践力の育成を目指して工夫されています。

○最後に、学研教育みらいについて、説明いたします。基礎的・基本的な学習内容を理解できるよう紙面の構成が工夫されています。P30、P31をご覧ください。各単元の内容を主体的・対話的で深い学びとなるよう「学習の目標」にそってわかりやすい4つのステージ「課題をつかむ」→「本文」→「考える・調べる」→「まとめる 深める」で1時間の流れが構成されています。全体的な紙面構成が課題解決的な学習の進め方を示しており、より基礎的・基本的な内容が習得できる構成になっています。

1時間の内容は見開きで、適切な分量となっています。章のまとめが充実しており、重要語句の確認、基礎的基本的な知識の習得とその活用ができるだけでなく、これらを通して自己評価をすることができるよう工夫しています。P102、P103をご覧ください。各章末の「探求しようよ」などの知識を活用するページが設定されており、学んだことを書いたり、他の人に伝えたりする学習を通して、思考を深める構成になっており、深い学びの充実が図られています。P105をご覧ください。「章のまとめ」を設け、重要語句の確認、基礎的基本的な知識の習得とその活用が充実しています。また「振り返ろう」では観点別に自己評価欄を設けることによりこの章で学んだキーワードが明確に示され、内容理解の手助けがされています。動画やウェブサイト等、学びを広げ、深めるための資料によって、生徒が興味をもって学びに向かえるように工夫されています。P10.をご覧ください。本文や資料以外に、リンクや教科書サイトから（参考になるウェブサイト国立がんセンター、厚生労働省へ）ガイドがなされ、補足資料が豊富に活用できるようになっています。生徒が興味をもって学びに向かえるように工夫されています。

これで、保健体育科の調査研究報告を終わりにいたします。ありがとうございました。

議長 ありがとうございました。事務局より補足等ありますか。

事務局 学校調査結果について、目録順に読み上げます。保健体育、東京書籍11票、大日本1票、大修館7票、学研5票、以上でございます。

委員 先ほど調査員長さんの説明で、学習課題がしっかり明記されていて自分のこととして考えていく、東京書籍のコメントがありました。また、大修館では課題をつかみ、しっ

	かり学習のまとめまでの学びの流れがパターン化されているということによろしいですか。
調査員長	はい。
委員	その中で思考しやすい資料提示が必要だと思いますが、この観点から2つの出版社でできることがあれば、いかがでしょうか。
調査員長	委員の中でもデジタルコンテンツ、インターネットをつかってやりやすいという意見と、また教科書の中で本文と連携をはかって資料が充実しているという意見に分かれました。そこにおいては同等の評価をしたところでございます。
議長	ほかに質問はございますか。
議長	それでは、これまでを踏まえて協議に入ります。御意見等お願いします。
議長	ありがとうございました。ここで、協議を打ち切ります。調査員長は退室してください。委員の皆様は、メモ用紙にご記入ください。
議長	次に、技術・家庭の報告をお願いします。
議長	御多用の中での調査ありがとうございました。では、報告してください。
調査員長	これから、（技術・家庭）科の調査結果の報告をいたします。よろしくお願いいいたします。東京書籍株式会社、教育図書株式会社、開隆堂出版株式会社の発行者全ての教科書につきましてそれぞれの概要と調査資料作成の観点に基づきまして、技術分野、家庭分野の順でご報告いたします。 ○東京書籍株式会社の技術分野では、資料や関連した情報が充実しており、課題設定や課題解決などの学習活動、調べ学習などが教科書で行える内容構成となっています。また、考える、話し合うなどの場面が要所に設定され、知識や技能の習得と共に、技術の見方・考え方について気付くことができるようになっていきます。家庭分野も、豊富な資料・情報により、生徒の興味・関心を高めながら主体的に学習に取り組めるよう工夫されています。また、各内容の導入部分では「この編で学ぶこと」、学習のまとめごとに「目標」が示されているので、生徒は見通しをもって学習できます。生活から課題を見つけ、実践的・体験的な学習を通した課題解決、学習を生活に生かすという、本教科の目指す学習が行えるように構成が工夫されています。 ○教育図書株式会社の技術分野では、生活に関連した製作品など豊富な学習事例を取り上げ、生徒が体験を通して基礎的・基本的な知識と技能を着実に習得することに重点を置きながら、生徒が自らの生活と結び付けて学習を行う工夫がされています。家庭分野では、実習例が豊富に掲載され、生徒が興味・関心を高めながら学習できるように工夫がされています。図や写真が大きく掲載されているので、知識や技能をわかりやすく習得できるように工夫されています。また、消費者教育に重点を置いており、他の内容と関連づけて学習が行えるように、工夫された構成となっています。 ○開隆堂出版株式会社の技術分野では、学習に関連した図や関連情報を紹介する事で、生徒の興味・関心、学習意欲を高める工夫がされています。 また、生徒の学習、思考の流れに沿った内容構成になっており、生徒が自ら課題解決できるための、基礎的な知識と技能を習得できるようになっています。家庭分野では、本文や資料、図などの量がバランスよく、学習しやすい位置に配置されています。

授業の導入部分では、学習の動機付けができるようになっていて、生徒が興味・関心をもって学習が進められるように工夫されています。また「やってみよう」「話し合ってみよう」など生徒の活動を促す場面が多く設定され、生徒が体験的に学んでいけるような構成になっています。なお、第18採択地区では現在、開隆堂出版株式会社の教科用図書を使用しております。続いて、内容につきまして、ご説明いたします。

○東京書籍技術分野「新しい技術・家庭 技術分野 未来を作る Technology」の〈知識及び技能が習得できるようにするための工夫〉について説明いたします。教科書全体を通して、原理・法則と仕組み、技術による問題解決、社会発展と技術で構成され、技術の見方、考え方に気付けるようになっていきます。また、学習の繋がりを意識した学習内容の構成になっており、次の学習への見通しをもちやすくなっています。次に、〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉について説明いたします。見本の100・101ページをご覧ください。それぞれの内容で「技術の工夫を読み取ろう」という項目を設け、先人たちがどのような見方や考え方で、技術の工夫を行ってきたのか、学習してきた知識と関連付け、生徒に気付かせることができるようになっていきます。見本の120ページをご覧ください。適切に成長しなかった例を提示し、既習事項を組み合わせるなど、思考を促せるようになっていきます。最後に〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉について説明いたします。教科書全体を通して、「考えてみよう」「やってみよう」という項目を掲載し、生徒が興味関心を持ち、自ら考え、学習活動に向かえるようになっていきます。また、見本の50・51ページをご覧ください。「テックラボ」という、今まで学習してきた知識について、詳しく解説しており、生徒が課題解決のために、必要な情報を選択し、主体的に学習する活動が行えるようになっていきます。

○続いて東京書籍家庭分野「自立と共生を目指して」の〈知識及び技能が習得されるようにするための工夫〉についてご説明いたします。見本の26ページをご覧ください。学習のまとめりに、ページ右上に「キーワード」を示し、学習内容を明確にしています。そして、100ページをご覧ください。各内容の最後にある「学習のまとめ」の中の「大切な用語」で再度確認することで、知識の定着が図れるように工夫されています。また、54ページをご覧ください。身に付けさせたい知識や技能は、ページタイトルである「いつも確かめよう」にまとめてあるので確認しやすく、確実に知識や技能が身に付けられるように工夫されています。次に、〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉についてご説明いたします。見本の8ページをご覧ください。ガイダンスにある「問題を解決する道筋」では、問題解決的な学習の流れを示しており、その後の学習や家庭生活で生かせるようになっていきます。122・123ページにありますように、学習のまとめりに生活の中での課題を発見し、その解決に向けて学習が進められるようになっていきます。実習例に関しましては、73ページ右下にありますように、「私のオリジナル」として工夫例を挙げて、生徒の創造性を広げることや家庭での実践に役立てられるようになっていきます。最後に〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉についてご説明いたします。見本の4ページから13ページでは、生徒が最初に学ぶガイダンスのためにページが割かれており、家庭分野の学習で「何を学ぶのか」「どのように学んでいくのか」を明確に示すことで、よりよい生活を創ろうとする態度を身に付けることができるように工夫されています。また、多くのページの下部にあります「生活に生かそう」等、学習活動を促すきっかけが多く見られ、家庭での実践に結びつけられるようになっていきます。

○続きまして教育図書出版技術分野「明日を創造する」の〈知識及び技能が習得できるようにするための工夫〉について説明いたします。見本の24・25ページをご覧ください。「めあて」と「ふり返る」項目が設定されており、具体的な目的を持って学習を行えるようになっていきます。また、「キーワード」を各学習項目に設定してあり、学習のポイントとして生徒が意識しながら学習することができるようになってい

す。次に、〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉についてについて説明いたします。見本の 62・63 ページをご覧ください。実習例が多く掲載され、目的や条件について詳しく例示をすることで、生徒が課題解決のための参考にし、思考を深めるための視点やヒントが示されています。また、活動毎に生徒が着目すべき内容を掲載し、生徒が見通しをもって活動することができるようになっています。最後に〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉について説明いたします。教科書全体として、「見つける」「つくってみよう」「やってみよう」という項目を掲載し、生徒の興味関心を高め、主体的に学習を進めることができるようになっています。また、見本の 67 ページをご覧ください。実習・活動例などが具体的で、生徒が実生活と関連づけて、明確なイメージを持って取り組むことができるような内容になっています。

○続きまして教育図書出版家庭分野「くらしを創造する」の〈知識及び技能が習得されるようにするための工夫〉についてご説明いたします。見本の 26・27 ページをご覧ください。学習のまとまりごとに「見つめる」「学ぶ」「ふり返る」の 3 つのステップに沿って学習を繰り返し、問題解決的に知識・技能を身に付けられるように工夫されています。また、34 ページをご覧ください。各章の終わりには「章末のまとめ」があり、学んだ知識や技能が身に付いているかどうか確認できるようになっています。次に、〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉についてご説明いたします。学習のまとまりごとに「やってみよう」というコーナーと、24・25 ページのような「学びを生かそう」という問題解決的な学習の手引きがあり、「やってみよう」で身に付けた知識や技能を生かして自分の課題に取り組むことで、課題を解決する力を養うことができるようになっています。また、127 ページをご覧ください。実習例では、「私のアレンジ」として工夫例を紹介し、生徒が自分の課題を設定するときの参考になるようにしています。あわせて、献立の組み合わせ例や失敗例を挙げることで、家庭での実践にも役立てられるようになっています。最後に〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉についてご説明いたします。見本の 72 ページをご覧ください。学習のまとまりのはじめには「めあて」が示されていて、課題意識と見通しをもって学習を進めることができます。そして 73 ページに示されている「ふり返る」には、生徒が評価と学びについて書き込める欄があり、自分なりに学びを見つめ直し、今後の学習や家庭での実践への意欲を高められるように工夫されています。また、69 ページをご覧ください。地域や社会で活躍している人など、学習内容に関わりのある人からのメッセージが掲載され、家庭分野で学習したことが今後の生活につながっていくことが感じられるように工夫されています。

○続きまして開隆堂出版技術分野「技術・家庭 技術分野テクノロジーに希望をのせて」の〈知識及び技能が習得できるようにするための工夫〉について説明いたします。学習の小さなまとまりごとに「学習の目標」を設け、学習内容が明確に生徒に伝わるようになっています。また、大きな学習のまとまりでは、「振り返り」の項目を設けてあり、学習後の振り返りを行いながら、知識を深めることができる工夫がされています。次に、〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉についてについて説明いたします。見本の 126・127 ページをご覧ください。「問題解決の流れ」・「問題の発見と課題の設定」の項目を掲載し、既習の知識をどのように問題発見、課題設定、そして課題解決に活用するのか生徒が理解しやすい内容構成になっています。また、実習例の内容構成が生徒の思考の流れに沿ったものになっていて、生徒が参考にしやすいようになっています。最後に〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉について説明いたします。「調べてみよう」「話し合ってみよう」というコーナーでの投げかけが多数あり、生徒が自ら考える場面や興味関心を高める場面として活用できるように工夫されており、小さなまとまりでの問題解決的な学習の手がかりとなっています。また、学習した知識や技能を活用する場面を設定し、学習成果で生

活を工夫創造するという、本教科の重要なポイントを押さえています。

○続きまして開隆堂出版家庭分野「生活の土台 自立と共生」の〈知識及び技能が習得されるようにするための工夫〉についてご説明いたします。見本本の112ページをご覧ください。資料の写真が大きく、効果的に配置されているので、生徒が目で見分かりやすいように工夫されています。120・121ページにあるような調理の手順は、全て写真で示されていて、生徒が実習を行うときに状態を確認しながら知識や技能を身に付けられるようになっていきます。また67ページを始めとして、各内容の最後には「学習のまとめ」を設けてあるので、学習したことの確認ができ、知識・技能が確実に身に付けられるようになっていきます。次に、〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉についてご説明いたします。74ページから77ページをご覧ください。ここが一つの学習のまとまりになっていますが、学習のまとまりごとに、課題発見、課題解決、生活に生かすという流れで教科書全体が共通しているので分かりやすくなっています。そのため、生徒は見通しをもって学ぶことができ、課題解決に向けて取り組みやすくなっています。また、211ページ「話し合ってみよう」、212ページ「考えてみよう」、219ページ「発表しよう」など、様々な言語活動ができるように設定されていて、生徒が自分の考えを広げて、深められるような工夫がされています。最後に〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉についてご説明いたします。70・71ページなどにありますように、各内容の始まりには見開きのページで大きく写真や図を掲載し、生徒の興味関心を高めて、主体的に学習に取り組める工夫がされています。また、221ページにありますように、学習のまとまりごとに「生活に生かそう」が示されていて、よりよい生活の実現に向けて、学んだことを実践していこうとする態度を育成できるようになっています。

以上、3つの発行者全ての教科書につきまして、技術・家庭科の報告を終わりにいたします。ありがとうございました。

- 議長 ありがとうございました。事務局より補足等ありますか。
- 事務局 学校調査結果について、目録順に読み上げます。技術家庭（技術）、東京書籍7票、教育図書1票、開隆堂9票、技術家庭（家庭）、東京書籍9票、教育図書1票、開隆堂10票、以上でございます。
- 議長 委員のみなさん、ただいまの調査員長による説明・報告 に対して、質問はありますか。
- 委員 技術分野と家庭分野では、今、使用しているのは開隆堂で、子供たちは使い慣れています。今回改定された教科書は、今までのものと比べてどうでしょうか。
- 調査員長 従前から技術・家庭科に携わった教員にとっては、改訂を経た際に大きくイメージを変えることのない開隆堂が、戸惑いなく使えるという点で使い勝手がよいと思われます。主体的な学習である、問題解決的な学習も進めやすい作りになっていると思われます。
- 議長 ほかに質問はございますか。
- 議長 それでは、これまでを踏まえて協議に入ります。御意見等お願いします。
- 委員 技術分野、家庭分野ともに、生徒の学習の流れに沿った内容構成になっている教科書がふさわしいと思います。このような観点からすると、どうでしょう。
- 委員 先ほどの他の委員さんの質問にもありましたように、ふさわしい教育内容、基本的な教

	<p>科書のスタイルが変わっていない、教えやすい、あるいは学びやすい、使い勝手が良い、それは同一性が保持されているということでしょうか。</p>
調査員長	はい。
議長	ありがとうございました。ここで、協議を打ち切ります。調査員長は退室してください。委員の皆様は、メモ用紙にご記入ください。
議長	それでは、投票を行います。事務局は準備願います。
事務局	<p>開票いたします</p> <p>美術 開隆堂 保健体育 東京書籍 技術・家庭「技術分野」 開隆堂 技術・家庭「家庭分野」 開隆堂</p> <p>美術 開隆堂 保健体育 東京書籍 技術・家庭「技術分野」 開隆堂 技術・家庭「家庭分野」 開隆堂</p> <p>美術 開隆堂 保健体育 東京書籍 技術・家庭「技術分野」 開隆堂 技術・家庭「家庭分野」 開隆堂</p> <p>美術 開隆堂 保健体育 東京書籍 技術・家庭「技術分野」 開隆堂 技術・家庭「家庭分野」 開隆堂</p> <p>美術 開隆堂 保健体育 大修館 技術・家庭「技術分野」 開隆堂 技術・家庭「家庭分野」 開隆堂</p> <p>美術 開隆堂 保健体育 大修館 技術・家庭「技術分野」 開隆堂 技術・家庭「家庭分野」 開隆堂</p> <p>以上でございます。</p>
議長	それでは、開票結果について、事務局から報告願います。
事務局	<p>美術、保健体育、技術・家庭「技術分野」、技術・家庭「家庭分野」の開票結果をご報告いたします。</p> <p>美術、（開隆堂）（6）票、（光村図書）（0）票、（日本文教）（0）票。</p> <p>保健体育、（東京書籍）（4）票、（大日本）（0）票、（大修館）（2票）、（学研）（0）票。</p> <p>技術・家庭「技術分野」、（東京書籍）（0）票、（教育図書）（0）票、（開隆堂）（6）票。</p> <p>技術・家庭「家庭分野」、（東京書籍）（0）票、（教育図書）（0）票、（開隆堂）（6）票。</p> <p>以上でございます。</p>
議長	<p>確認致します。</p> <p>美術は、開隆堂が過半数の得票数を得ましたので、開隆堂を選定いたします。</p> <p>保健体育は、東京書籍が過半数の得票数を得ましたので、東京書籍を選定いたします。</p> <p>技術家庭（技術）は、開隆堂が過半数の得票数を得ましたので、開隆堂を選定いたします。</p> <p>技術家庭（家庭）は、開隆堂が過半数の得票数を得ましたので、開隆堂を選定いたします。</p>
議長	ここで休憩時間をとります。

議 長	それでは再開いたします。英語の報告をお願いします。
議 長	御多用の中での調査ありがとうございました。では、報告してください。
調査員長	<p>外国語科の調査結果を報告いたします。よろしくお願いいたします。</p> <p>外国語科では、東京書籍、開隆堂、三省堂、教育出版、光村図書、啓林館の6つの発行者の教科書があります。各発行者とも学習指導要領の改訂を受け、単元の構成が、初期段階では基礎的・基本的な知識・技能の習得を、次にそれらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等の育成を、単元の後期または終末段階で主体的に学習に取り組む態度が養われるよう配慮され、生涯にわたり学習する基盤が培われるように構成されています。今回は新たに6者共通して随所にQRコードが記されており、スマートフォン等で読み取ると該当部分の音声や画像または映像、音声スクリプトなどを確認できるようになっています。さらに巻末にはCAN-DOリストが掲載され、生徒の学習の振り返り活動を大切にされた構成となっています。学習指導を進める上で、6者とも小中の接続を重視し、内容の組織・配列・分量も効果的と思われるのですが、発行者間で若干の違いやばらつきはみられました。それでは発行者すべての教科書につきまして、発行者番号順にご報告いたします。</p> <p>○初めに、東京書籍です。東京書籍の教科書は、中学校入学から夏休み前までを小中接続期と位置づけ、単元（Unit）の扉では「聞く」活動、パートの最初は小学校で学んだ表現を使って「話す」活動を行うなど、小学校で扱った「表現」を取り上げながら中学校の「文法」学習として積み上げられるよう配列されています。また、随所に「小学校の単語」コーナーがあり、巻末資料の中にも「小学校の単語」が4頁にわたり整理され、小中の接続を強く意識した構成となっています。主な特徴について、1年の教科書（三人称単数現在形を扱う単元）で説明させていただきます。57頁、Unit 6をご覧ください。単元構成は、Unitの扉の頁でリスニング活動による新出文法の導入、次にPreviewで文法を使う「目的・場面・状況」を理解させ、QRコードを読み込んで映像で気づきを促します。続いて、Story①、②、③で本文の概要を把握する学習をし、Mini Activityで主に文法の理解を確認し、「知識・技能」を評価。Unit Activityで学習したことを総合的に確認し、「思考力・判断力・表現力」の評価が可能となります。2、3年の教科書では、Preview ⇒ Scene 1, 2 ⇒ Mini Activity ⇒ Read and Think 1, 2 ⇒ Unit Activity という流れとなっており、特徴として Read and Think 1, 2で「3段読み」（Round 1 概要・大意の理解、Round 2 詳細理解、Round 3 表現活動へ）に取り組み、読んだことを「発表」や「やりとり」、「書く」ことにつながられるようになっています。なお、目標文の提示については、映像等で「目的・場面・状況」を理解したり Story 内容の概要を捉えたりした後、本文に記された英文と同じ文を目標文として掲載し、新出文法の簡潔な説明が添えられているなどの工夫がみられます。</p> <p>○次に、開隆堂です。開隆堂の教科書は、小学校で慣れ親しんだ「場面を表わす絵（マンガ）を見ながら、やり取りを聞く」活動を通して、新出表現を学ぶ紙面が最大の特徴となっています。主な特徴について、1年の教科書（三人称単数現在形を扱う単元）で説明させていただきます。61頁、PROGRAM 5をご覧ください。単元構成は、単元（PROGRAM）の扉の頁で単元目標を確認し、次にScenesでマンガ形式による場面理解と短い対話情報から新しい表現を学習。Thinkで題材内容について深く考える。Retellで本文を繰り返し読むことで、その内容を自分のことばで語る活動に取り組みます。そして Interact で新出表現を使う自然な場面設定の中で自己表現をし、即興のやり取りに取り組んだりやり取りの要点を「書くこと」でまとめたりします。目標文は、各単元の最初の段階に示され、英文の内容は必ずしも本文の内容とは一致していません。</p>

んが、目標文の理解・定着を図るための活動の頁（例えば 62, 63 頁）が充実していることが特徴的となっています。複数の技能を統合的に活用し、協働的な学習でパフォーマンス活動に取り組むプロジェクト型学習が年 3 回、それぞれ 5 頁の紙面を割いているのも大きな特徴です。続いて 156 頁をご覧ください。本教科書は CAN-DO リストが 4 頁にわたって、生徒にとって分かりやすいことばでまとめられているなどの工夫がみられます。生徒が英語を学んでできるようになったことを、4 技能 5 領域で学習の振り返りができるよう、工夫されています。

○次に、三省堂です。三省堂の教科書は、語彙が豊富であることが最大の特徴といえます。また、生徒の発達の段階に合わせて、受容レベルの習得に留めるもの（受容語彙）と、発信レベルまで高めるもの（発信語彙）を見極め、指導できるよう配慮されています。主な特徴について、1 年の教科書（三人称単数現在形を扱う単元）で説明させていただきます。69 頁、Lesson 4 をご覧ください。単元構成は、単元の扉の頁で学ぶ内容への動機づけをし、学習の見通しを立て、Get (part 1, 2) で 40～50 語程度の英文を読み、基礎的・基本的な語句や表現、文法事項や文構造を習得します。Use (Read) で 2 頁にわたるまとまりのある英文の概要や要点を読み取る力をつけます。Use (Write) で目的や場面、状況に応じて文章の構成を考え、まとまりのある英文を書く力をつけます。Use (Speak) で音声やデリバリーを工夫し、発表する力をつけます。Take Action で聞く力や即興で伝え合う力をつける構成となっています。さらに Get Plus で会話の表現と言語の働きを整理し、実際のコミュニケーションで活用する力を養う頁が設定されています。目標文は Get の頁の下段に示され、本文の内容とは一致していませんが、見開きの右頁でドリル活動ができるよう工夫されています。次に、66、67 頁の Project 1 「理想のロボットを発表しよう」をご覧ください。プロジェクト型学習（年 3 回）については、複数の技能の統合的な活動に取り組み、特に本教科書は想像力をかきたてるテーマ設定の下、思考力・判断力・表現力の育成を意識した内容となっています。

○次に、教育出版です。教育出版の教科書は、スムーズな小・中接続を掲げ、最初の単元 (Springboard 1～4) から Lesson 3 まで (50 頁まで)、時間をかけて小学校での学びを振り返りながら中学校の学習に結びつけていることが特徴的といえます。主な特徴について、1 年の教科書（動詞の過去形を扱う単元）で説明させていただきます。51 頁、Lesson 4 をご覧ください。単元構成は、扉の頁は大きな写真と単元で扱うテーマを示し、学習の見通しを立てます。続いて、Part 1, 2, 3 ⇒ Review, Task ⇒ Grammar ⇒ Tips ⇒ Project ⇒ Reading という学習の基本的な流れがあり、単元初期段階の Part 1, 2 は主に対話文、Part 3 は主に叙述文を扱い、Part 3 では本文の量も多めとなり「読むこと」に重点が置かれています。58 頁をご覧ください。Review, Task で本文の概要を捉えたり聞き取ったことのメモをとったりという活動に取り組みます。次の Grammar で新出文法等のまとめ、そしてこの単元を通して何ができるようになったのか振り返ります。続く Tips の頁では英語習得のコツが学べる構成となっています。多くの発行者は動詞の過去形の学習時期をおよそ 3 学期に配置していますが、本教科書は Lesson 4 で扱い、夏休み前の 1 学期 6 月末から 7 月に学習する配置となっています。これは小学校で過去形が指導されていることを早い段階から素地として活用するための工夫となっています。巻末の 2 頁見開きの Can-Do 自己チェックリストは各学年とも中学校 3 年間の到達目標が示され、長期的な見通しの中で目標達成度を確かめられるよう工夫されています。

○次に、光村図書です。光村図書の教科書は、本文が 1 年から 3 年までひと続きのストーリーから成る点が最大の特徴です。個性豊かな 4 人の中学生がさまざまな体験をとおして成長していく物語となっており、学習者にとって学びに対する大きな動機づけ (モチベーション) になると思われます。

主な特徴について、1 年の教科書（三人称単数現在形を扱う単元）で説明させてい

ただきます。84 頁、Unit 6 をご覧ください。単元構成は、扉の頁でタイトルや絵・写真を使って題材への興味づけを図り、話題の予測や表現の導入をします。85 頁の最上部をご覧ください。単元の Goal (目標) が「…できる」という言い方で示され、「何ができるようになるか」がはっきりと分かるようになっています。次に Part 1, 2, 3 の本文は、QR コードを活用し、聞く活動で内容を推測したりスライドアニメでストーリーの概要理解に取り組んだりします。Part の見開き右頁には「聞く」「話す」「書く」の順に基本文や語彙を練習します。そして使いながら学んできた表現について、目的・場面・状況を確かめながら基本文の形やルールを整理できるようになっています。92 頁をご覧ください。Goal が見開き 2 頁あります。これまでの各 Part の学習や左頁で理解したことを活用して自己表現活動に取り組むことができます。最後に最下段の振り返り活動で単元での学びを自己評価できるようになっています。100、101 頁をご覧ください。You Can Do It! ではこれまで各単元での学びを活用してプロジェクト型学習に取り組み、思考・判断・表現する活動の充実が図れるよう、工夫されています。

○最後に、啓林館です。啓林館の教科書は、発達の段階を追って、無理なく学習を積み重ねていく構成が特徴的といえます。例えば、100 語を超えるやや長めの英文が登場するのは Unit 9 の 100～101 頁です。これは 3 学期 1 月頃の学習となります。2・3 年では複数の技能の統合的学習として Express Yourself でミニスピーチを作成・発表する構成となっています。主な特徴について、1 年の教科書（三人称単数現在形を扱う単元）で説明させていただきます。66 頁、Unit 6 をご覧ください。単元構成は、扉の頁の最上段に単元の目標を「…できる」という語尾で示しています。続いて、Part 1, 2, 3 では Get Ready (Read) で読む、Get Ready (Listen) で聞く、Practice で新出文法に慣れる、Use で新出文法を活用した発信活動に取り組む構成となっています。目標文は各 Part の見開き右頁の最上段に本文に登場した英文と同じ文が掲載され、詳しい解説もあるので生徒の自学自習がしやすくなっています。次に 100 頁をご覧ください。1 年は Unit 9 から Part 1～3 の後に Read & Think のコーナーが見開きページで登場します。各 Part で学習した新出文法がすべて含まれたやや長めの英文が掲載され、実際の場面や流れの中で振り返りができるようになっています。また、右頁の下段で Understanding 概要把握、詳細理解、自分の意見や考えを述べる活動に取り組む構成となっています。本教科書も各単元の学びを積み重ね、学期に 1 度のプロジェクト型学習に取り組み、テーマに基づいて長めの英語で発信活動を行います。53 頁をご覧ください。「自己紹介をしよう」というテーマです。その後も 1 年は「友達にインタビューしよう」、「日記を書こう」のように、身近なテーマで取り組みやすくなっています。

以上、6 つの発行者全ての教科書につきまして、外国語科の報告を終わりにいたします。ありがとうございました。

- | | |
|------|--|
| 議長 | ありがとうございました。事務局より補足等ありますか。 |
| 事務局 | 学校調査結果について、目録順に読み上げます。英語、東京書籍 8 票、開隆堂 10 票、三省堂 4 票、教育出版 2 票、光村図書 5 票、啓林館 0 票、以上でございます。 |
| 議長 | 委員のみなさん、ただいまの調査員長による説明・報告に対して、質問はありますか。 |
| 委員 | 第 18 採択地区内の子供たちにとって、よりふさわしいと思われる発行者を 2～3 者あげるとするならば、どの発行者でしょう。 |
| 調査員長 | 外国語科の調査員で教科書の調査研究を行う中で、この地域の子供たちにとって、よ |

りふさわしいと思われる発行者は、「光村図書」、「東京書籍」、「教育出版」の3者と考えました。「光村図書」の主な理由は、3年間ひと続きのストーリーで登場する4人の中学生の成長物語を追いながら、ストーリーの魅力を生かして言語活動に取り組むことができる点です。具体的に4つ申し上げます。①ストーリー性が高い本文の内容のため、言語習得につまずきがちな生徒でもその内容を追いかけてよいことで、学習に向かう態度を保ちやすいと思われます。②ストーリーの中で出会う英語には、言葉の学びに必要な「目的」「場面」「状況」の3つの要素が揃っていて、繰り返し触れることで豊富なインプット（受容）が可能となり、同時にアウトプット（発信）に繋げやすくなる点です。③本文で取り扱う英語の内容が充実していることです。例えば3年では教育、平和学習、科学技術・福祉、環境問題、人権・共生といった題材を扱い、自分の生活や持続可能な開発目標（SDGs）などの問題に触れ、深い学びを実現しようとしているからです。例としてUnit 3（31頁～）は、広島への修学旅行の題材を基に平和について考える単元となっています。④文構造、文法項目の配列に3年間を通してバランスがとれていることです。「東京書籍」の主な理由は、改訂学習指導要領の趣旨を確実に反映させ、授業者にとって教えやすい、生徒にとって学びやすい構成、内容となっているからです。具体的に4つ申し上げます。①小学校での学びを随所で振り返ることができます。1年のUnit 0からUnit 5までは特に接続が意識された構成です。1～3年まですべての紙面に「小学校の単語」というコーナーがある点も学習者に優しい構成といえます。②単元の目標（Goal）が明確に示され、「どのような意識を持ち、何ができるようになるか」が扉のページで分かります。単元末には振り返り（Check）コーナーがあり、単元目標を振り返りやすくなっており、主体的に学習に取り組む態度の育成に結び付きます。③本文で取り扱う英文の内容が特に充実していることです。例えば3年ではスポーツ、伝統文化、動物の生態系、防災、平和と人権、国際協調など、持続可能な世界の実現に向けて英語を通じて世界を見つめ直し、考えを深めるようになっています。例として読み物教材に、広島の実験ドームを舞台とした教材、オバマ前大統領の広島訪問の話が掲載されています。④「光村図書」と同様に、文構造、文法項目の配列に3年間を通してバランスがとれていて、無理のない配列といえます。「教育出版」の主な理由は、小中の接続を重視した構成であること、生徒にとって学びやすい構成、内容となっているからです。具体的に4つ申し上げます。①1年の最初の単元からLesson 3まで（50頁まで）、時間をかけて小学校での学びを振り返りながら中学校の学習に取り組めるようになっています。②本文の中に盛り込まれている目標文（Key Sentence）が生徒にとって自然な内容で、かつ同じ頁に複数回登場してくる点です。3年の仮定法過去の目標文（3年60頁）の登場は特徴的な例です。③「教育出版」も先の2者と同様に、持続可能な開発のための教育の推進に取り組んでいます。例えば3年では外国の地理・文化、環境、情報社会、職業、差別と貧困などのテーマを扱っています。例として読み物教材に、女優オーディリー・ヘップバーンのユニセフ親善大使としての活動を取り上げています。④文構造、文法事項の配列について特色があります。例えば1年の早い段階で過去形を学習し、多くの場合は2年で学習する助動詞 must, may, have to や未来形が1年の3学期に学ぶ配列となっており、1年生で学ぶ文構造、文法事項がやや多めとなっています。

議長 ほか質問はございますか。

委員 小学校は開隆堂を使っているとおもいますが、小学校と中学校の接続を考えた場合、同じ発行者の方が良いのか、それとも別に考慮しなくとも大丈夫なのか。と言うのは、ややスキルの面がありますよね。語学学習においては。いかがでしょうか。

調査員長	<p>接続という点では、どの発行者も強く意識して構成となっておりますので、必ずしも小中が同じ発行者でなくとも大丈夫と思っております。</p>
議 長	<p>それでは、これまでを踏まえて協議に入ります。御意見等お願いします。</p>
議 長	<p>ありがとうございました。ここで、協議を打ち切ります。調査員長は退室してください。委員の皆様は、メモ用紙にご記入ください。</p>
議 長	<p>それでは、次に、道徳の報告をお願いします。</p>
議 長	<p>御多用の中での調査ありがとうございました。では、報告してください。</p>
調査員長	<p>令和3年度使用中学校道徳科の教科用図書について、発行者番号2東京書籍、17教育出版、38光村図書出版、116日本文教出版、224学研教育みらい、232廣済堂あかつき、233日本教科書の7者全ての調査結果を、報告いたします。まず始めに、どの発行者についても、中学校学習指導要領の道徳科の目標に準拠し、『教材』や『資料』が構成されており、色づかいやデザイン、書体等について特別支援教育的な配慮がされてありましたことを先に申し述べさせていただきます。その上で、各者の教科用図書の調査結果について、調査票の内容の部分を中心に、特徴的な点を説明させていただきます。調査資料と当該の教科用図書を見ながら、お聞きください。</p> <p>○発行者番号2 東京書籍の教科用図書ですが、AB版を採用した、各学年1冊の教科用図書です。特に工夫されている内容等について、1年生用教科書を使ってご説明いたします。この教科用図書の特徴は、道徳の授業に係る可視化のための工夫がとて多い、ということです。まず、各学年巻頭に「話し合いの手引き」を配置し、話し合い活動を促す工夫がされています。各教材に「つぶやき」が設けられ、自分の思考や感じたことなどを可視化しながら学習を進めることができる。」ことです。教材毎にこのような記入欄を設けているところは、この教科用図書の、大きな特徴であるといえます。また、問題解決的な学習、体験的な学習がより活発になるよう、ホワイトボード、心情円など、付録等が充実しており、道徳的価値の自覚を深める話し合いができるよう、工夫されています。どちらも、生徒自身が自分の心の様子、考えを可視化するための道具です。各教材の冒頭にテーマを表示、課題を把握させ、ホワイトボード、心情円、記入欄のつぶやきを活用し、主体的な学習を促すことが可能です。今日的な課題についてですが、「いじめ」や「いのち」等のユニットを組むことで、大切なテーマに集中して学習に取り組めるよう配慮されています。「いじめのない世界へ」は、いじめについて直接的・間接的に扱った複数の教材を組み合わせた「ユニット構成」での教材配置のことです。「いじめ問題」について、重点的に扱いやすい工夫と言えます。この工夫は「生命尊重」についても同様に「いのちを考える」というユニットを設けています。最後に<その他、特記すべき教材等について>ですが、日本最初の女医、荻野吟子の紹介や、「書道パフォーマンスの挑戦」（2年P149 埼玉県立滑川総合高等学校の書道部）、「見沼に降る星」（1年P175 見沼田んぼ さいたま市）等、埼玉県に係る教材が掲載されていることや、村上清加、萩野公介、小平菜緒と李相花等パラリンピック・オリンピック選手が取り上げられていることが挙げられます。</p> <p>○発行者番号17 教育出版の教科用図書ですが、B5版を採用した、各学年1冊の教科用図書です。特に工夫されている内容等について、2年生用教科書を使ってご説明いたします。この教科用図書の特徴ですが、まず、教材冒頭の導入の「発問」と教材末尾の「学びの道しるべ」での「発問」で、生徒が考えを深めるポイントについておさえ、道徳的価値を考えさせるよう、工夫されていることが挙げられます。P14の「先輩」をお開きください。導入や、「学びの道しるべ」での三つの発問など、これらの発問</p>

で一連の流れとして、学びを連携させて、道徳的諸価値に関わる考えを深めさせることをつなげています。次の特徴ですが、教材がバランス良く取り入れられているため、様々な視点や角度から考えることができるよう工夫されています。目次をご覧ください。SDGs（Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標））、安全防災、いじめ問題や性差別問題など、現代の課題をバランスよく掲載されています。この「バランスよく扱う」、ということですが、特に、いじめに関する教材は、発達の段階に応じ、一年生が一番多く扱う（5読み物教材2ユニット、2・3年生2読み物教材1ユニット、）という配慮もされています。様々な立場の考えを取り上げた教材や、登場人物が判断を迫られる場面があり、「自分事」として考えることができるよう工夫されています。1例として、P14の「先輩」では、2年生として、後輩をもつ先輩としての立場は、P132「本当の友達って」では、同級生との「友達」としての関わり方を、P146「3年生をおくる会」では先輩への後輩としての思いを、それぞれの立場に立って、「自分事」として考えさせやすい教材が、掲載されています。最後に、＜その他特記すべき教材について＞ですが、埼玉県にゆかりのある人物、洪沢栄一、荻野吟子、塙保己一の紹介と、それぞれの人物が大切にしてきたとされている言葉が掲載されていること（QRコードから、Webコンテンツを通して、洪沢栄一記念館のホームページへもつながるようになっていました。）や、スポーツやオリンピック・パラリンピックで活躍した人物も取り上げている教材が複数掲載されていることが挙げられます。

○発行者番号38 光村図書出版の教科用図書ですが、B5版を採用した、各学年1冊の教科用図書です。特に工夫されている内容等について、1年生用教科書を使ってご説明いたします。この教科用図書の大きな特徴は、教材を3つのシーズンに分け、さらにテーマごとにユニットを組んで学ぶことができるように設定されていることです。P2、目次をご覧ください。教材を3つのシーズンに分け、さらにテーマごとにユニットを組んで学ぶことにより、道徳的諸価値を深く理解できるように工夫されています。ユニット内の教材はテーマに沿って関連性の深い内容項目が結びつくように配列してあります。また、環境、共生、国際理解など現代的な課題については、各学年数多く取り上げられています。読み物教材だけでなく、「広げよう」の中でも数多く取り上げられています。次に教材間に入っている、「深めたいむ」は、問題解決型の学習を促すページになっています。特に、各学年の一つ目の「深めたいむ」は、いじめに関する学習となっています。P34をご覧ください。いじめを許さないところについて考えさせ、最後の発問には、自らを振り返られるような発問を設定しています。また、各教材末に「考えよう」「見方を変えて」が設けられ、多面的・多角的に考え、最後に自己を振り返るよう工夫されています。P33をご覧ください。「考えよう」では、道徳的な問題を明らかにする発問、道徳的な価値についての理解や自覚を深める発問の2つが示され、「見方を変えて」には、主人公の考えだけでなく、多面的・多角的な見方や考え方ができるように切り口を変えた発問が用意されています。

○これらの発問を示すことにより、「考え、議論する道徳」の授業の実現につながられます。「つなげよう」については、他の教育活動へつなげることを意図した、問いや呼びかけを示しています。最後に＜その他、特記すべき教材等について＞ですが、小学校道徳の定番の読み物教材が、各学年1教材ずつ、掲載されています。（1年「橋の上のおおかみ」、2年「泣いた赤鬼」、3年「手品師」）小学校での道徳の授業を思い出しながら、学びなおし、自らの心の成長を自覚することにつながることもできる教材です。

○発行者番号116 日本文教出版の教科用図書ですが、B5版を採用した、読み物教材や活動内容等を示す本冊と、別冊「道徳ノート」の2冊で構成されています。特に工夫されている内容等について、1年生用教科書を使ってご説明いたします。この教科用図書の一番の特徴は、別冊「道徳ノート」がついていることです。別冊「道徳ノート」

は、議論した内容が対比しやすく、学習した内容を記録としても残しやすいように工夫されています。また、各学年巻頭では、自分の思いを記録し、生徒自身が3年間の成長を実感できるとともに、巻末の保護者記入欄では、家庭と学校との連携が図れるよう、工夫されています。つづいて、本冊をご覧ください。教材末にある発問が2つとなっており、深い学びにつなげることができます。具体的に教材を見ながら、教材末に、「考えてみよう」と「自分に+1」で、議論する発問例と自分を見つめるための発問例を挙げています。授業を進めるに当たっては、主題名と登場人物を導入として活用し、「考えてみよう」で議論しながらねらいに迫り、「自分に+1」で学んだことを今後生かすよう自分を見つめさせます。3ステップで深い学びにつながるよう、1時間の学習の流れが可視化されています。「いじめと向き合う」「よりよい社会と私たち」という2種類のユニットを設定し、年間を通じて複数回学習するように配置しています。例をあげて説明します。ユニット「いじめと向き合う」ですが、いじめ問題に関して、複数の教材とコラムを組み合わせたユニットを編成しています。いじめを直接的、間接的に扱った題材が両方あり、いじめが起きやすい時期に合わせて複数回配置しており、多面的・多角的に考えさせることにつながられます。特に、いじめ認知件数の多い1年生には、年間3か所ユニットを設定しています。最後に<その他特記すべき教材について>ですが「よりよい社会と私たち」という(新しい)ユニットについて挙げます。生徒たちが主体的によりよい社会を創造していけるように「社会への参画」や「将来の生き方」に関わる教材・コラムを設置、日常生活や将来に生かせる多彩な内容を扱っています。特に発達の段階を考慮し、2、3年生には年間3か所ユニットを設定してあります。

○発行者番号 224 学研教育みらいの教科用図書ですが、これまでのA4判から、新たにAB版を採用した、各学年1冊の教科用図書です。特に工夫されている内容等について、1年生用教科書を使ってご説明いたします。この教科用図書の一番の特徴は、郷土(埼玉)に係る教材が数多く掲載されていることです。例えば、寄居町立男衾中学校(1年P124)、埼玉の偉人尾高惇忠(2年P80)、マラソンの設楽悠太選手(1年P127)、パラリンピックメダリストの村岡桃佳選手(同P147)など、埼玉、(深谷市や寄居町)に係る教材・人物が多く掲載されており、生徒の興味関心を高められます。次に、「主題名をあえて表示しないこと」で、生徒が主体的に課題を発見し、道徳的価値の自覚を深めていけるよう、様々な工夫がされています。そのために、まず、巻頭に掲載されている、「考えを深める四つのステップ」では、具体的な学びの流れを提示し、道徳的諸価値についての理解を深めさせる手立てが見える化されています。これを踏まえて、「教材名」とあわせて「キーフレーズ」を入れることで、生徒が興味を寄せ、考えたいようにしています。主題名の扱いに配慮し、教科書にあえて主題名を表示しないことで、特定の価値観を押しつけず、生徒が道徳的価値を内面的に自覚するための工夫がされています。さらに、「深めよう」「クローズアップ」などの特設ページによって、より学びが深まる工夫がされています。また、「いじめ防止」「情報モラル」など現代的な課題も多く扱っており、発達段階を考慮して、学年ごとに工夫されています。「命の教育」を重点テーマとし、「クローズアッププラス」で「生命の尊重」「いじめ防止」につながる3つのテーマを取り扱い、あわせて各学年で3教材ずつ掲載しています。また、「情報モラル」について、発達段階に合わせて系統的に各学年2教材ずつ用意されており、そのうち1教材は、スマホを扱った教材でつながりをもたせる工夫があります。最後に<その他、特記すべき教材等について>ですが、すでに説明しました、埼玉に係る教材・人物が多く掲載されていることが、挙げられます。

○発行者番号 232 廣済堂あかつきの教科用図書ですが、AB版を採用した、読みもの教材や活動内容等を示す本冊と、別冊「道徳ノート」の2冊で構成されています。特に工夫されている内容等について、1年生用教科書を使ってご説明いたします。この教科用図書の一番の特徴は、別冊「道徳ノート」がついていることです。「本冊」の、各教

材末の「考える・話し合う」では、学習のめあてが提示され、学びを促すための問いにより、学習を深められます。実際に確認 「目標は小刻みに」P9教材末) また、Webコンテンツ P15『インターネット』→胎児の様子動画へや各教材末の名言、教材末の1行、特集ページ目次参照が充実しています。「道徳ノート」では、前半は、道徳的諸価値の解説が掲載されており、道徳的価値の理解を確かなものにできるように工夫されています。後半は、記述欄で構成されています。「学習の記録」に、授業内容に応じて自分の考えを記述することで、自分自身を見つめ、振り返ることができます。また、「心のしおり」を通して、自己の課題や目標を設定し、振り返りを促すことができるように工夫されています。最後に、＜その他特記すべき教材について＞ですが、オリンピック・パラリンピックに出場した選手に関する教材が各学年に掲載されており、栄光の裏にある彼らの努力や苦悩する姿などから、生徒が「人間として生きるすばらしさ」を感じ取れるように配慮されています。

○発行者番号 233 日本教科書の教科用図書ですが、B5版を採用した、各学年1冊の教科用図書です。特に工夫されている内容等について、1年生用教科書を使ってご説明いたします。まず、目次をご覧ください。それぞれの読み物教材の教材末に「考え、話し合ってみよう そして、深めよう」が設けてあり、生徒の主体的・対話的で深い学びを促すための手がかりとなる問いが示されています。実際に確認 P20。教材ごとに「考え、話し合ってみよう そして、深めよう」の問いを通して、自己の生き方を見つめ、人としてどう考え行動していくのかを自ら考え・議論できるように工夫されています。また、「書いてみよう」(P84)「もっと知りたい」(P103)などのページも用意されており、道徳的課題を自分自身の問題として捉え、道徳性の育成が図れるように工夫されている。3年間同じ人物が登場するシリーズ教材や学年間の繋がりを重視し、他領域につながる教材など、発達段階を考慮した内容となっている点も大きな特長である。共通した登場人物（「リョウとマキ」P60）を扱う教材を配置し、ストーリーに連続性をもたせ、悩みや葛藤を自分の友だちのように一緒に共有し、道徳的問題として考えられるように工夫されています。中学生の日常に寄り添う教材と言えます。（1年：First Love、2年：Triangle Zone、3年：Stand by Me）最後に＜その他特記すべき教材について＞ですが、全国の学校で歌われている合唱曲「旅立ちの日に」を生んだ秩父市立影森中学校を扱った教材が掲載されています。（P136「希望の風に」）また、オリンピック・パラリンピックに出場した選手に関する教材が各学年に掲載されており、生徒の心を動かす内容となっています。各社の教科用図書についての説明は以上です。

- | | |
|------|--|
| 議長 | ありがとうございました。事務局より補足等ありますか。 |
| 事務局 | 学校調査結果について、目録順に読み上げます。道徳、東京書籍3票、教育出版3票、光村図書1票、日本文教1票、学研4、あかつき11票、日本教科書0票、以上でございます。 |
| 議長 | 委員のみなさん、ただいまの調査員長による説明・報告に対して、質問はありますか。 |
| 委員 | 第18採択地区内の子供たちにとって、よりふさわしいと思われる発行者を2～3者あげるとするならば、どの発行者でしょう。 |
| 調査員長 | どの発行者も「特別の教科 道徳」令和3年度実施に向けて、創意工夫を凝らした教科用図書であると調査員一同感じていたところではあるが、深谷市、寄居町の生徒が使用するにあたり、2～3者敢えて挙げるとすれば、発行者番号2「東京書籍」、224「学研教育みらい」、232「廣済堂あかつき」を挙げます。「東京書籍」は、 |

学習指導要領の道徳科の目標に準拠し、教材や資料が構成されており、特別支援教育的な配慮がなされ、各内容が創意工夫もされています。今回の調査に係る諸観点について、他者同様、多様な工夫がされておりました。あわせて、巻末の切り取り式の自己評価用紙やホワイトボード用紙、心情円など、生徒が主体的な学習を促す他者にはない工夫がありました。教科書発行者として、多くの教科用図書を編集しているため、ノウハウの蓄積を有し、現在も本採択地区の5種目の教科書の発行者であり、生徒や教員にとっても、使いやすい教科用図書と言えます。「学研教育みらい」は、学習指導要領の道徳科の目標に準拠し、教材や資料が構成されており、特別支援教育的な配慮がなされ、各内容が創意工夫もされています。あわせて、今回の検定に際し、多くの教材を入れ替え、以前から掲載されていた寄居町立男衾中学校に係る読み物教材を始め、新たに深谷市出身の村岡桃佳さん、寄居出身の設楽悠太さんを紹介する教材が掲載されたことで、生徒達にとって、非常に親しみを感じる教科用図書であると考えられます。他者と比較しても、埼玉県に関する教材が数多く掲載されています。（内容の良さから）平成30年度まで、寄居町で、副読本を使用していたため、なじみのある教材が多く、使いやすい教科用図書だと言えます。「廣済堂あかつき」は、2分冊の教科用図書ですが、前の2社同様、学習指導要領の道徳科の目標に準拠し、教材や資料が構成されており、特別支援教育的な配慮がなされ、各内容が創意工夫もされています。また、別冊の道徳ノートを活用することにより、生徒の学習の記録が残り、評価の際の拠り所にできます。（内容の良さから、）令和2年度現在深谷市で採択されているため、なじみのある教材が多く、使いやすい教科用図書だと言えます。以上の理由で、「東京書籍」、「学研教育みらい」、「廣済堂あかつき」の3者を挙げます。

- 委員 ノートが別冊になっているものもありますが、どのように評価しますか。
- 調査員長 ノートがあるか、どちらがすぐれているかは判断しづらいですが、前回採択時のノートよりも内容が手厚くなり、記述する際の自由度も増えています。ワークシートの追加でも対応している。
- 議長 ほかに質問はございますか。
- 議長 それでは、これまでを踏まえて協議に入ります。御意見等お願いします。
- 委員 学習を深めるためには、教師の発問が重要と考えます。このような観点からすると、どうでしょう。
- 調査員長 発問というのは重要だと思っています。考えなくなる魅力のあるという観点が必要となってきます。その背景には魅力のある教材等が必要になってくる。今回優れた教材がそろっている。十分に生徒にとって魅力のある発問ができる。良い発問についてそれぞれの発行者で考えて記載されてあるので授業の質もあがると考えられます。
- 議長 御示唆頂きました。
- 委員 中学校の道徳は小学校と違って、本来は道徳的な価値についてやり取りするのが道徳の時間で、資料というのは単なる手段で、本来ならば道徳の価値だけでやれば良いが、発達段階によってできないから資料を使用する。そのことを考えると、より自分と正対する、自分の心と向き合う時間、そうしたものに重きをおいた資料。また、それから今子供たちが使っているのはあかつきですね。学研を見ると地域の教材がある。

	やや惹かれます。他にはどうでしょう。
議長	ありがとうございました。ここで、協議を打ち切ります。調査員長は退室してください。委員の皆様は、メモ用紙にご記入ください。
議長	それでは、投票を行います。事務局は準備願います。
事務局	開票致します。 英語 東京書籍 道徳 学研 英語 光村書店 道徳 あかつき 英語 開隆堂 道徳 あかつき 英語 東京書籍 道徳 学研 英語 光村書店 道徳 学研 英語 東京書籍 道徳 あかつき 以上でございます
議長	それでは、開票結果について、事務局から報告願います。
事務局	英語、道徳の開票結果をご報告いたします。 英語、（東京書籍）（3）票、（開隆堂）（1）票、（三省堂）（0）票、（教育出版）（0）票、（光村図書）（2）票、（啓林館）（0）票。 道徳、（東京書籍）（0）票、（教育出版）（0）票、（光村図書）（0）票、（日本文教）（0）票、（学研）（3）票、（あかつき）（3）票、（日本教科書）（0）票。 以上でございます。
議長	英語に関して、過半数を得た教科書がありませんので、英語は、東京書籍と光村図書の再度投票となります。 英語の再投票にともない、投票前に行った協議の整理時間として時間をとります。資料や見本本を再度読み直し、東京書籍と光村図書の再度投票に備えて下さい。なお、一時退出することなく、この場での確認をお願いします。
議長	時間になりました。それでは再投票を行います。
事務局	開票いたします。 英語 東京書籍 英語 東京書籍 英語 東京書籍 英語 東京書籍 英語 光村図書 英語 東京書籍
議長	それでは、開票結果について、事務局から報告願います。
事務局	英語の開票結果をご報告いたします 英語、（東京書籍）（5）票、光村図書（1）票、以上でございます。
議長	英語は東京書籍が過半数を得ましたので、東京書籍を選定いたします。
会長	道徳については同票でございますので私の方で決めさせていただきます。皆様方で何か御意見ありますか。 平成27年に学習指導要領の一部改正で、特別の教科道徳になり、それに伴い、現行の教科書を初めて選定いたしました。今使っているのがあかつきです。子供たちにと

って使い勝手が良いということで。同一性を保持していくような認識を持っておりま
す。かつ、別冊ノートで子供が自分をそこに投影して、きちんと自分の価値観をそこ
へ書く、といったような時間がとれるのではないのでしょうか。
したがって、あかつきを選定したいと思います。よろしいでしょうか。

委 員 はい。（全員）

議 長 では、全教科について、確認します。

国語		教育出版
書写		教育出版
社会	地理分野	東京書籍
社会	歴史分野	東京書籍
社会	公民分野	東京書籍
地図		帝国書院
数学		啓林館
理科		教育出版
音楽	一般	教育芸術
音楽	器楽合奏	教育芸術
美術		開隆堂
保健体育		東京書籍
技術・家庭	技術分野	開隆堂
技術・家庭	家庭分野	開隆堂
英語		東京書籍
道徳		あかつき

となりました。

議 長 皆さんよろしいでしょうか。

委 員 はい。（全員）

議 長 長時間にわたり、熱心な協議ありがとうございました。皆様の御協力により、円滑に議
事を終了することができました。
以上をもちまして、協議を終わりにします。議長の任を解かせていただき司会を事務局
にうつします。